

第6次朝日町総合計画 前期基本計画
令和4年度事業評価報告書

令和5年8月
朝日町

第6次朝日町総合計画の事業評価について

1. 目的

令和3年度を初年度とする第6次朝日町総合計画では、総合計画を推進するに当たり「3計画の推進に向けて」において、「(1) 多様な主体による計画の推進」、「(2) PDCAサイクルによる計画の推進」を示しています。

特に、「(2) PDCAサイクルによる計画の推進」においては、総合計画の実行性を担保するため、「評価・検証」について示していることから、総合計画に記載されている基本計画について進捗管理を適切に行うための「評価・検証」する仕組みを構築し、それぞれの所管課において計画の進捗状況を管理します。

【参考】第6次朝日町総合計画 3計画の推進に向けて (2) PDCAサイクルによる計画の推進 一部抜粋

本町の計画推進に当たっては、限られた資源（人員・財源等）を最大限に発揮できるよう、効果的な資源（人員・財源等）の結びつけによる行政経営マネジメントの向上を図り、着実な施策の推進と評価・検証、必要に応じ見直しをするなどPDCAサイクルに基づいて、目標の実現に向けた取り組みを進めていきます。

2. 進捗状況の評価について

各所管課は、PDCAサイクルマネジメントを実践するため、主要施策ごとに事業評価シートを作成し、内部評価を実施します。内部評価実施については、実効性をより担保するため上半期終了時点に進捗状況の評価を行うとともに、年度末に年間の事業実績等に対する事業評価を行います。

なお、年度末に実施する年間の事業実績等に対する事業評価結果については、事業の透明性を高めるとともに町民との協働体制を強化するため、町民に公開・周知（ホームページ等）を行います。

【内部評価実施時期】

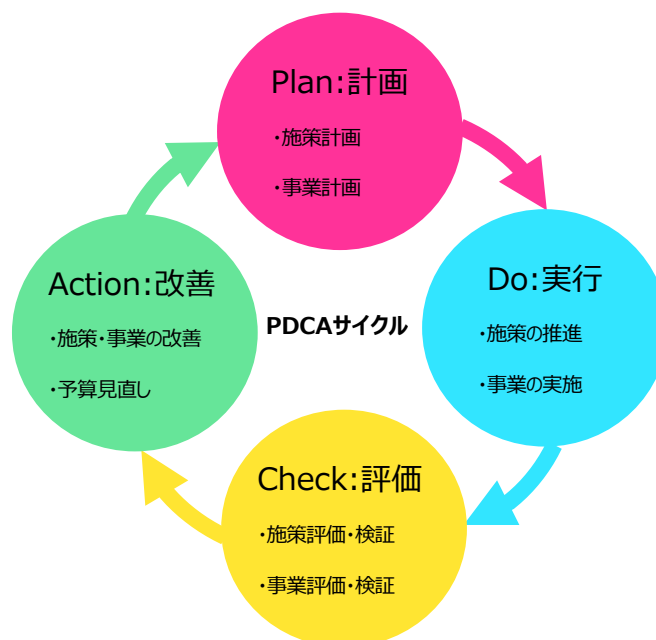
(1) 10月中旬

当該年度の9月末時点の進捗状況について評価を実施します。

(2) 翌4月中旬

当該年度の3月末時点の進展度、取り組み概要と成果、残された課題について評価を実施するとともに、評価結果を踏まえ、翌年度の取り組み方向を示します。

計画推進のPDCAサイクル



3. 事業評価シートについて（記載方法）

主要施策

主要施策○	第6次朝日町総合計画における主要施策を記載しています。	所管課	主要施策における所管課を記載しています。
■ 令和4年度の進展度		※ 下記の取り組み概要及び目標指標の達成状況を踏まえA～Dの4段階で評価しています。	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
令和4年度の取り組み内容を具体的に明記するとともに、取り組みの成果と残った課題や、環境変化に伴い発生している新たな課題を記載しています。			
■ 令和5年度の取り組み方向			
事業評価を踏まえ、令和5年度の取り組み方向を記載しています。			

※ ■ 令和4年度の進展度（3月末時点）（A～Dで評価）

A：十分進んだ（100%）

B：ある程度進んだ（70%以上100%未満）

C：あまり進まなかった（40%以上70%未満）

D：進まなかった（40%未満）

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
第6次朝日町総合計画における目標指標を記載しています。	令和元年度の現状値	目標値	令和3年度の目標値	令和4年度の目標値	令和5年度の目標値		令和7年度の目標値
		実績値	令和3年度の実績値	令和4年度の実績値			

※現時点で、当該年度の現状値の把握が困難な指標については、把握可能な最新年度の数値を記載しています（この場合、当該年度の実績値に*が記載されています）。なお、これに関連する目標値も同様に、評価に用いる対象年度を「例：（H30）等」と併記しています。

1-1 子育て支援の充実

施策の目指す姿

- 「子育てするなら朝日町」と言われるように、様々な子育て家庭が安心して生活できる地域社会になっています。
- 保育の「質」と「量」の確保により、子育て世代が夢と希望、喜びをもって安心して子育てを行い、子どもが健やかに成長することができる環境が整っています。
- 次代を担う全ての子どもが健やかに成長できるよう、地域ぐるみの子育て環境が整備され、子どもを産み育てることへの不安を軽減するための支援体制が充実しています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	保育サービス等の充実	所管課	あさひ園、子育て健康課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保幼小中育ちのリー事業」を通じて、園児・児童・生徒の交流や教職員の交流が計画どおり実施できており、途切れなく子どもたちの健やかな成長を支援できました。 ・保護者の就労時間に応じ早朝保育、延長保育の受入れや、支援が必要な園児に対し加配保育士の配置ができました。 ・医療的ケア児の受入れにあたり、関係機関と連携しガイドラインの策定や保育士の喀痰吸引研修など事前準備を実施し、次年度の受入れに向けた体制整備ができました。 ・保育室を増築し環境整備を行ったことで待機児童ゼロの目標を達成することができました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育を行っている保育所の案内を窓口を設置、必要な方に配布を行いました。また、朝日町内で事業受入可能な医療機関がないため、桑名市及び近隣市町と連携し引き続き事業が継続できるように取り組みました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健やかな成長を支援するため、園、小学校、中学校が1校ずつあることの強みを活かした事業を実施します。 ・多様化する保育ニーズの把握に努め、安全安心な保育所運営を行うため、保育士の確保や環境整備を実施します。 ・使用済紙おむつの回収については、保護者からの要望や国からの事務連絡を受け、保育所にて回収する方向で検討を進めます。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町と連携し引き続き、病児保育事業が継続できるように努めます。 			

主要施策2	地域ぐるみの子育て環境整備の推進	所管課	子育て健康課、あさひ園
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センターにて育児相談を実施しました。希望者だけでなく、健診等で育児不安がある方や悩みのある方の参加も勧めています。 ・7、8か月児相談や離乳食教室等にて、母子同士の交流ができる時間を設けました。 ・朝日町児童館は、18歳未満の子どもたちへ遊びを通じて健やかな成長を図り、その健康を増進し、情操を豊かにする事を目的に各種事業（子ども遊び館、児童館まつり、子育て支援事業）を実施しました（利用者数17,505人）。 ・放課後児童クラブは現在5か所で運営しており、事業者へ運営補助として補助金を交付しました（利用者数200人・利用希望者全員が利用）。 ・放課後児童クラブの利用者は毎年増加し続けており、町として待機児童が出ないように事業者とは情報共有を徹底し、学童保育スペース確保の工夫も併せて要請しました。来年度以降も利用者の増加が見込まれ、引き続き待機児童が出ないように事業者との調整が必要です。 <p>※【実施計画】学童保育所運営補助事業</p> <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター事業を地区公民館と保健福祉センターを会場に毎日開催できており、地域の子育て支援の受け皿としての活動ができました。しかし、コロナ禍で会場の利用人数制限や地区指定を行い活動してきており、誰もが参加しやすい環境を設けることができなかったことが課題となりました。 ・男性の育児参加を促すため、新たに「パパweek」を9月に6日間開催し好評を得ることができました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制その他業務の円滑な実施に取り組む施策として現行の第2期朝日町子ども・子育て支援事業計画は令和6年度までの計画ですが、第3期の計画策定に向けて、今年度はアンケート調査を予定しております。 <p>※【実施計画】子ども・子育て支援事業計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保健福祉センターにて育児相談を実施していきます。希望者だけでなく、健診等で育児不安がある方や悩みのある方の参加も勧めていきます。 ・7、8か月児相談や離乳食教室等にて、母子同士の交流ができる時間を設けていきます。 ・引き続き、子どもたちの健全な育成を図るため、朝日町児童館にて各種事業（子ども遊び館、児童館まつり、子育て支援事業）を実施します。 ・子どもたちの居場所づくりのため、引き続き放課後児童クラブの事業者へ運営補助を実施するとともに、待機児童が出ないように事業者と調整を行います。また、放課後児童クラブは2か所増の7か所運営となり、国の基準である1支援あたり40名前後で保育可能となり安全かつ余裕をもって事業を実施していきます。 <p>※【実施計画】学童保育所運営補助事業</p> <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさひ園と子育て支援センターという限られた資源の中で、可能な限りの子育て支援の受け皿を維持し、事業を実施します。また、コロナ後の感染状況を把握し、希望する誰もが参加できる環境を整え事業を実施します。 			

主要施策3	母子保健対策の充実	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・妊娠期から各時期に合わせた教室健診・相談等を実施し、途切れのない支援を行いました。また、乳幼児健診を行い、乳幼児期の身体発育及び精神発達を確認し、必要に応じた指導を行いました。</p> <p>・少子化対策の一環として特定不妊治療費・不育治療費助成事業により、費用の一部を助成することによって経済的負担の軽減を図りました。</p> <p>・子ども医療費助成事業については計画どおり事業を遂行でき、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることができました（実績額57,955千円）。また、近隣市町で対象年齢拡大等のより充実したサービスを実施しているため今後の検討課題となっています。</p> <p>※【実施計画】子ども医療費助成事業</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・妊娠期から各時期に合わせた教室健診・相談等を実施し、途切れのない支援を行っていきます。また、乳幼児健診を行い、乳幼児期の身体発育及び精神発達を確認し、必要に応じた指導を行います。</p> <p>・特定不妊治療費は保険適用になりましたが、引き続き少子化対策の一環として不育治療費助成事業により、費用の一部を助成することによって経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>・引き続き、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、医療費助成事業を実施します。また、近隣市町の動向を注視しながら事業継続に取り組みます。</p> <p>※【実施計画】子ども医療費助成事業</p>			

主要施策4	子どもの発達支援の推進	所管課	子育て健康課、あさひ園
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <p>・専門職（言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士）の個別相談で、言語指導、発達検査等の相談・助言を予約制で120回実施しました。</p> <p>・専門職（特別支援教育士・社会福祉士）の園・学校への巡回相談、作業療法を19回実施しました。</p> <p>※【実施計画】子どもの発達支援事業</p> <p>・みえ発達障がい支援システムアドバイザーの取り組みとしては、発達障がいに関すること、発達障がいに関する普及啓発をし、発達支援の推進に努めました。また、発達障がいに関する児童の保護者相談や不登校児童の相談を受け、園学校へ繋ぎました（学校への児童観察、支援方法の提案）。</p> <p>・町の発達障がいに関しての途切れのない支援体制構築のための研修発表を実施しました。</p> <p><あさひ園></p> <p>・子どもの発達支援を専門とするNPO法人と連携するとともに、子どもたちの途切れのない支援を行うため職員研修を実施し、保育士の質の向上と子ども個々に応じた支援を行う取組みができました。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <p>・引き続き、特別な支援を必要とする子どもの早期発見に努め、専門職（言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士・特別支援教育士・社会福祉士）による相談・指導等を実施します。</p> <p>・引き続き、今年度も、発達障がいに関する普及啓発活動を行います。思春期の児童の発達の課題や不登校児童について研修等を通して、専門性や技術力向上を図ります。</p> <p>※【実施計画】子どもの発達支援事業</p> <p><あさひ園></p> <p>・子どもの発達支援を専門とするNPO法人等の外部機関と連携し、保育士の質の向上のための学習機会を確保します。</p>			

主要施策5	様々な子育て家庭に対する支援の充実	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の子ども、障がい児を対象として、医療機関にかかったとき、保険適用分のうち自己負担分（額）を後日助成しました。 ・コロナ禍におけるエネルギー・食料品等の物価高騰対策支援として、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を国及び県と連携して円滑に支給しました（対象世帯24世帯、対象児童39人に一人5万円、合計195万円）。 ・虐待・DV・若年妊婦等の支援が必要な子ども、妊婦及び家庭については関係機関（あさひ園や小中学校、教育課、児童相談所、福祉事務所等）と情報共有、相談支援を図りながら支援しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成については対象世帯の経済的な負担軽減を図るため実施するとともに、近隣市町の動向を注視しながら事業継続に取り組みます。 ・昨年同様に、令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業に取り組んでいきます。 ・引き続き、虐待・DV・若年妊婦等の支援が必要な子ども、妊婦及び家庭については関係機関（あさひ園や小中学校、教育課、児童相談所、福祉事務所等）と情報共有、相談支援を図りながら支援します。 			

主要施策6	児童虐待の未然防止の推進	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、学校、園、民生委員会等に虐待リスクのある家庭、支援が必要な家庭の情報共有を実施しました。また、必要に応じて、担当者会議を行い虐待の早期発見、早期支援を行いました。 ・虐待や虐待が疑われる事案の速やかな情報提供、育児で困ったときに相談できる場を町広報紙、リーフレットにて周知しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、定期的に、学校・園・民生委員会等に虐待リスクのある家庭、支援が必要な家庭のの情報共有を実施していきます。また、必要に応じて、担当者会議を行い虐待の早期発見、早期支援を行っていきます。 ・虐待や虐待が疑われる事案の速やかな情報提供、育児で困った時に相談できる場を町広報紙、リーフレットにて周知していきます。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
保育所入所 待機児童数	0人	目標値					0人
		実績値	0人	0人			
子育て支援 センター利用 者数	20人/日	目標値					全希望者
		実績値	10人/日 (全希望者)	12人/日 (全希望者)			
放課後児童 クラブ利用者 数	175人	目標値					全希望者
		実績値	176人 (全希望者)	200人 (全希望者)			
児童館利用 者数	17,466人	目標値	14,500人	16,500人	17,000人		18,000人
		実績値	16,251人	17,505人			
赤ちゃん訪 問率	100%	目標値					維持
		実績値	91.2%	100.0%			
1歳6ヶ月児 健診受診率	100%	目標値					維持
		実績値	98.2%	99.1%			
3歳6ヶ月児 健診受診率	100%	目標値					維持
		実績値	99.1%	97.5%			

1-2 高齢者福祉・介護保険の充実

施策の目指す姿

- 高齢者が住み慣れた地域で、社会活動や趣味活動を通して生きがいを見つけ、自立と尊厳をもって自分らしく安心して暮らしています。
- 高齢者も含めた地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、助け合い、地域をともに創っていく「地域共生社会」が進んでいます。
- 介護が必要となった場合に適切なサービスが提供されるなど、保健・医療・介護・福祉等と連携した「地域包括ケアシステム」の構築が進んでいます。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	高齢者の生きがいつくり・高齢者を支える地域づくりの推進	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場としてのサロン事業、福祉人材センターのボランティア募集等については新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き継続し、サロン事業については前年度を大幅に上回る実績となりました（119回実施）。 ・配食サービスについては「配食ボランティア」と「給食ボランティア」、2つのボランティア団体により月1回ずつ計月2回を6ヶ月、合計12回実施しました。 ・地域包括ケアシステムについては、昨年度に引き続き三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と協力して進めており、特に認知症施策の実施を重点的に行いました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいつくり、高齢者を支える地域づくりの推進のため、通いの場としてのサロン事業、福祉人材センターのボランティア募集等を引き続き実施します。 ・「配食ボランティア」及び「給食ボランティア」による月2回の配食サービスを継続実施します。 ・地域包括ケアシステムについては、昨年度に引き続き三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と協力して進めていきますが、特に薬剤師会と協働し、在宅医療・介護連携の推進についてを重点的に進めていく予定です。 			

主要施策2	介護予防・介護保険サービスの充実	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業への参加率が低かった男性に特化した運動教室・料理教室を本年度から拡充実施しました。従来の事業を敬遠していた層から支持されて好評を得ており、特に料理教室については平均参加人数が10名を超えるなど、高い人気を誇っています。 ・本年度初めて実施した運動機能向上教室の参加者を対象とした体力測定を6月初旬と8月下旬に実施し、測定項目5項目中3項目で数値が向上している結果となりました。 ・体の状態や認知状態に不安があり、今後申請や相談が必要な方が、スムーズに支援や申請を行えるように地域包括支援センターと情報共有しました。 ・介護給付適正化事業として、居宅介護支援事業所を対象としたケアプラン点検を2事業所対象に実施しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業については参加者のニーズに合わせて、より参加したいと思える内容へと改善を行っていきます。また、参加者の運動機能の向上、維持の状況を把握するため、引き続き運動機能向上教室の参加者を対象とした体力測定を行います。 ・介護給付適正化事業として居宅介護支援事業所を対象としたケアプラン点検を継続実施します。 			

主要施策3	在宅医療・介護連携の推進	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、介護連携については、引き続き朝日町地域包括支援センターが中心となり、四日市医師会及び1市3町間で連携を図りながら推進しました。 ・四日市医師会が主催する地域連携室連絡会には5月と11月に参加し、医師会及び1市3町間での情報共有を行いました。 ・医療と介護の連携の中で薬剤師とケアマネジャーとの連携が重要となることから、朝日町の高齢者を担うケアマネジャーを対象にケアマネジメント支援会議を1月に開催し、会議に薬剤師会からも参加いただき、ケアマネジャーと薬剤師との連携について事例紹介や意見交換を行いました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、介護連携については、引き続き朝日町地域包括支援センターが中心となり、四日市医師会及び1市3町間で連携を図りながら推進していきます。 ・薬剤師会と協働し、かかりつけ薬局による薬剤管理の適正化（残薬調整や服薬整理）を行う、ブラウンバッグ事業の推進に力を入れていきます。 			

主要施策4	認知症対策の推進	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・徘徊高齢者SOSメールについては、対象者の情報が文字情報しか送信できないシステムから画像データも送信できるシステムへ改修を実施しました。ただし、既存登録者のみへの周知であったため、メールマガジン登録者数については伸び悩む結果となりました。 ・老人性難聴が認知機能低下のリスクとされていること、また、補聴器の使用により生活の質（QOL）向上を図るため、75歳以上の身体障害者手帳交付者以外の日常生活で支障のある難聴者を対象とした補聴器購入費用助成事業を実施し、9名の方に助成金を支給しました。ただし、75歳以上では既に補聴器を持っているという意見もあり、想定していたよりも申請は伸びませんでした。 ※【実施計画】高齢者補聴器購入費用助成事業 ・成年後見制度や認知症に関する講演会など住民向け講演会を2回開催しました。 ・令和4年度から開始した新たな認知症カフェについては年間4回実施、延べ93人が参加しました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大によりしばらく実施できていなかった認知症サポーター養成講座を1回実施し、33名の方が参加しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・徘徊高齢者SOSメールについては改めて住民全体への周知をするため、9月の世界アルツハイマー月間と併せて住民全体に向けて周知を行う予定です。 ・身体障害者手帳交付者以外の日常生活で支障のある高齢の難聴者を対象とした補聴器購入費用助成事業については、75歳以上だと既に補聴器を持っているという意見を踏まえ、対象年齢を拡大し65歳以上を対象とします。 ※【実施計画】高齢者補聴器購入費用助成事業 ・認知症カフェについては認知症グループホームへ直接出向いて事業を行うなど、認知症について正しく理解ができるような新たな取組を行う予定です。 ・認知症に対する正しい理解を広めるため、認知症サポーター養成講座を引き続き実施する予定です。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
福祉人材センター登録者数	17人	目標値	20人	20人	20人	/	33人
		実績値	17人	18人	/	/	/
一般介護予防事業参加者延べ人数	5,970人	目標値	5,000人	4,000人	4,000人	/	6,500人
		実績値	2,994人	3,646人	/	/	/
認知症サポーター数	100人	目標値	120人	330人	370人	/	200人
		実績値	315人	341人	/	/	/
徘徊高齢者SOSメール登録者数	216人	目標値	230人	380人	380人	/	300人
		実績値	359人	360人	/	/	/

1-3 障がい者施策の充実

施策の目指す姿

- 障がいのある人もない人も地域社会の一員として、お互いの個性を認め、支え合える社会になっています。
- 障がい者が自らの意思に基づいて社会活動に参加し、住み慣れた地域において自立した生活を送ることができる社会になっています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	自立生活への支援	所管課	保険福祉課、子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市障害保健福祉圏域にて甲州・東海ブロック家族会精神保健促進研修会が行われる予定でしたが、コロナ禍での準備作業に支障が出たため翌年度へ延期となり、一般層に向けての啓発活動はできませんでした。 ・四日市障害保健福祉圏域の1市3町が相談支援体制の充実に向けて実施している「指定特定相談支援等体制強化補助金」の申請が16件（43人分）ありました。今年度から始まったこともあり、相談支援専門員の増加などの効果はまだ出ていません。 ・障がい者の日常生活の利便性を高めるため、補装具23件、日常生活用具78件を支給決定しました。 ・各手帳交付時に各種手当や制度の周知を行いました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児及び発達障がいを持つ子どもが適切な支援を受けられるように、相談支援事業所と連携し、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用等、福祉サービスの利用を勧めました。また、適宜担当者会議を開催し、関係機関との情報交換及び今後の支援について検討しました。今年度は医療的ケア児受入れ検討委員会を設け、関係機関で検討のうえ、医療的ケア児をあさひ園で受け入れました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き四日市障害保健福祉圏域の1市3町が相談支援体制の充実に向けて「指定特定相談支援等体制強化補助金」の申請を受け付け、補助金を交付します。また、この補助金によって相談専門支援員の増員が図られていくのか毎年実績を確認していく必要があります。 ・引き続き各手帳交付時に各種手当や制度の周知を行います。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き医療的ケア児及び発達障がいを持つ子どもが適切な支援を受けられるように、相談支援事業所と連携し、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用等、福祉サービスの利用を促します。また、適宜担当者会議を開催し、関係機関との情報交換及び今後の支援について検討していきます。今後もあさひ園や小中学校での医療的ケア児の受入れ体制を整えるため、その都度、医療的ケア児受入れ検討委員会を開催していきます。 			

主要施策2	雇用・就労への支援	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の雇用部会では、企業サポート等を行いました。また、福祉施設から一般就労への移行者が1人ありました。 ・特別支援学校での進路懇談会は対面形式とWeb形式で行われ、学校と連携して6人の就労支援を実施しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の雇用部会での取り組みを進めます。 ・特別支援学校の進路懇談会へ参加し、卒業後の就労に向けてサポートを行います。 			

主要施策3	差別解消・虐待防止・社会参加の促進	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮や障がい者虐待防止の啓発について、12月の町広報紙に掲載しました。 ・障がい者虐待の対応実績はありませんでした。 ・障がい者の地域活動、レクリエーション活動等について、9月の町広報紙に掲載しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮や障がい者虐待防止の啓発について、町広報紙への掲載回数を増やします。 ・障がい者虐待の対応時は、作成したフローチャートに基づき相談支援事業所等の関係機関と連携して早期対応に努めます。 ・障がい者の地域活動、レクリエーション活動等が開催される際に、町広報紙に掲載するなど周知を支援します。 			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
福祉施設の入所者の地域生活への支援	0人	目標値	1人	1人	1人		1人
		実績値	0人	0人			
福祉施設から一般就労への移行者数	0人	目標値	1人	1人	1人		1人
		実績値	0人	1人			
合理的配慮や障がい者虐待防止の啓発回数	1回	目標値	1回	1回	2回		3回
		実績値	1回	1回			

1-4 健康づくりの推進

施策の目指す姿

- 一人一人が積極的に健康づくりに取り組み、健康寿命を延伸し、誰もがその人らしく、生き生きと心身ともに健康に過ごしています。
- ライフステージに応じた健康づくりの取り組みを家庭や学校及び職場など、社会全体で支援する環境が整っています。
- 町内外の医療機関と連携して、感染症対策や医療ニーズの高まりに対応した地域医療体制が整っています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	ライフステージに応じた健康づくりの推進	所管課	子育て健康課、保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠時及び出生時から子どもの健やかな心身の発達を育むため妊娠届出時及び出生届出時に専門職が面接を行い、相談や各種サービスの紹介をしました。また、妊娠期から子どもの月齢に応じて、健康診査や相談・教室・訪問、産後ケア事業等を行いました。令和4年度から実施した「1か月児健康診査費用助成事業」は3月末現在で93件で対象者全員が利用し、「新生児聴覚検査費用助成事業」は、3月末時点で72件で、約8割の方が利用されています。令和5年2月からは、「出産子育て応援給付金事業」も開始し、相談支援に加え、経済的支援も行いました（出産応援給付金（妊娠届出後）130件、子育て応援給付金（出産届出後）80件）。 ・乳幼児への歯科保健対策として、「妊婦歯科検診」を実施し、妊娠期からの歯科保健指導を実施していますが、受診率は、約50%で、さらなる啓発が必要です。 ・青壮年期の成人が、自ら心身の健康づくりに積極的に取り組めるよう「あさひ健康マイレージ事業」を実施しました。健康マイレージ事業参加者には、抽選で朝日町特産品（あさひのお米）を景品として、参加者の増加を図っていますが、参加者が少なく、さらなる啓発が必要です。 ・高齢者の「生活習慣病予防」のため、70歳以上のがん検診自己負担金を無料としました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の歯科疾患予防や口腔機能維持・向上にむけて、9月に歯科衛生士による集団講話を開催し、令和5年3月にケーブルテレビで歯科衛生士と地域包括支援センター職員による対話式の講話及び口腔体操を放映（1日5回、1回5分程度）しました。集団講話は健康意識が高い方の参加に偏りがちであり、次年度もケーブルテレビを活用しての事業実施など幅広く知識普及をするための施策が必要です。 			

■令和5年度の取り組み方向	
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰もが幸せで健康に暮らせるまちあさひ」を基本理念に、「朝日町健康増進計画」の改訂を行います。 ※【実施計画】健康増進計画・自殺対策行動計画策定事業 ・子どもの健やかな心身の発達を育むため、妊娠届出時及び出生届出時に専門職が面接を行い、相談や各種サービスの紹介をしていきます。また、妊娠期から子どもの月齢に応じて、健康診査や相談・教室・訪問、産後ケア事業、出産・子育て応援給付事業等を行っていきます。 ・乳幼児への歯科保健対策として、「妊婦歯科検診」を実施し、妊娠期からの歯科保健指導を実施していますが、受診率は、約50%で、さらなる啓発を行います。 ・青壮年期の成人が、自ら心身の健康づくりに積極的に取り組めるよう「あさひ健康マイレージ事業」を実施しています。健康マイレージ事業参加者には、抽選で朝日町特産品（あさひのお米）を景品として、参加者の増加を図っていますが、参加者が少なく、お米以外の特産品も選べるように改善します。 ・高齢者の「生活習慣病予防」として、70歳以上のがん検診自己負担金の無料を継続していきます。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・無関心層への知識普及のため、引き続き歯科疾患予防や口腔機能維持・向上に関する集団講話とケーブルテレビ放映を予定しています。また、町広報紙に四日市歯科医師会及び三重県歯科衛生士会四日市支部の協力を得て年3回関連記事を予定しています（R5年8月、R6年2月、3月）。 	

主要施策2	疾病予防や重症化対策の推進	所管課	子育て健康課、保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾病予防や生活習慣病重症化予防のため、各種健（検）診については、対象者へ個人通知にて案内し、勧奨しました。 ・がん検診案内時には、各がんに関する情報や検査方法、精密検査の重要性などを記載した説明書を同封し、健診受診後の精密検査受診の必要性を啓発しました。 ・がん検診受診者数（受診率）は、胃がん検診352人（5.8%）、大腸がん検診580人（9.5%）、肺がん検診497人（8.1%）、乳がん検診562人（15.1%）、子宮がん検診516人（12.3%）、前立腺がん検診238人（8.0%）でした。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市医師会及び管内市町と協力し、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を行いながら、国保特定健康診査・後期高齢者健康診査・後期高齢者歯科検診を実施しました。また、受診者向上にむけて通知勧奨及び訪問勧奨を実施し、国保特定健康診査411人（48.5%）、後期高齢者健康診査530人（46.0%）、後期高齢者歯科検診49人（18.6%）となり、前年度より受診率が向上しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種健（検）診については、対象者へ個人通知にて案内し、勧奨していきます。 ・がん検診案内時には、各がんに関する情報や検査方法、精密検査の重要性などを記載した説明書を同封し、健診受診後の精密検査受診の必要性を啓発していきます。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保特定健康健康診査の受診率は、国の目標とする60%に達していないため、引き続き通知勧奨や訪問勧奨による事業勧奨を予定しています。 			

主要施策3	地域や関係機関と協働した健康づくりの推進	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・「あさひ健康マイレージ事業」を活用し、一人一人が積極的な健康づくりを推進できるよう、あさひ健康マイレージ事業の啓発を実施しました。具体的には周知・啓発のためチラシを5,000枚作成し、町広報紙折込にて全戸配布しました。また、各種がん検診や国保特定健康診査のご案内時にチラシを同封し、啓発を行いました。さらには朝日町特産品（あさひのお米）をインセンティブとし、参加者の増加を図ると共に、特産品の啓発も行いました。しかし、参加者が12名と少なく、さらなる啓発が必要です。</p> <p>・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置しました。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・「あさひ健康マイレージ事業」を活用し、一人一人が積極的な健康づくりを推進できるよう、周知・啓発のためチラシを5,000枚作成し、町広報紙折込にて全戸配布するなど、引き続き啓発を行います。</p> <p>・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、引き続き「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置します。</p>			

主要施策4	健康危機に備えた対応の推進	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・各種感染症から町民を守るため、ワクチン接種対象者には個人通知や町広報紙等で周知を行い、BCG接種106人、二種混合126人、四種混合のべ421人、麻しん風しん混合のべ193人、日本脳炎のべ513人、ヒブのべ343人、小児肺炎球菌のべ377人、水痘のべ161人、B型肝炎のべ272人、ロタのべ229人、子宮頸がんのべ119人、高齢者インフルエンザ1,182人、高齢者肺炎球菌48人、風しん抗体検査54人、風しん予防接種15人、新型コロナウイルスワクチンのべ9,972人が予防接種を実施しました。</p> <p>・町民への円滑なワクチン接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、まん延の防止が図れました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、国から支給されたマスク、手袋、手指用消毒液、機材用消毒液等の備蓄を適切に行いました。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・引き続き各種感染症から町民を守るため、ワクチン接種対象者には個人通知や町広報紙等で周知を行うとともに、接種率の向上に努めます。</p> <p>・町民への円滑なワクチン接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、まん延の防止を図ります。</p>			

主要施策5	こころの健康づくり対策の推進	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防の一環である学童期からのこころの健康づくり対策として、中学校でのこころの健康づくり研修会をオンラインにて開催しました。 ・庁舎内担当者と関係機関の情報共有の場として、こころの健康づくり推進協議会を開催しました（コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議にて開催しました）。 ・町広報誌にて、毎月「こころの健康づくりだより」を掲載し、「こころの健康」に関する啓発を行うとともに、各相談窓口の周知を図っています。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防の一環である学童期からのこころの健康づくり対策として、中学校でのこころの健康づくり研修会を対面にて開催します。 ・庁舎内担当者と関係機関の情報共有の場として、こころの健康づくり推進協議会を開催し、こころの健康課題について検討していきます。また、「朝日町自殺対策行動計画」を策定します。 <p>※【実施計画】健康増進計画・自殺対策行動計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町広報紙にて、「こころの健康」に関する啓発及び各種相談窓口の周知を引き続き実施します。 			

主要施策6	地域医療体制の充実	所管課	子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・適切な医療サービスを受けられるよう、かかりつけ医の普及を図るとともに、広域連携のもと、休日夜間診療や救急医療体制の確保と情報の提供を行いました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・適切な医療サービスを受けられるよう、かかりつけ医の普及を図るとともに、広域連携のもと、休日夜間診療や救急医療体制の確保と情報の提供を行っていきます。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
国民健康保険特定健診受診率	47.4%	目標値	55.6%	57.6%	60.0%		60.0%
		実績値	42.8%	48.5%			
国民健康保険特定保健指導率	52.5%	目標値	52.0%	55.9%	60.0%		60.0%
		実績値	22.8%	51.5%			
後期高齢者健診受診率	47.6%	目標値	46.0%	47.0%	48.0%		50.0%
		実績値	48.0%	46.0%			
後期高齢者歯科検診受診率	26.5%	目標値	26.0%	27.0%	28.0%		30.0%
		実績値	25.2%	18.6%			
がんによる死亡率	29.9% (H30)	目標値	29.0%	29.0%	28.5%		28.0%
		実績値	29.8%	*			
毎日朝食摂取率(20~39歳)	男69.7% (H30) 女81.2% (H30)	目標値			男75.0% 女85.0%		
		実績値					
成人の喫煙率の減少	9.9% (H30)	目標値			5.0%		
		実績値					
運動習慣のある人の割合	男40.2% (H30) 女41.3% (H30)	目標値			男45.0% 女48.0%		
		実績値					
65歳以上高齢者のうち、要介護3以上の割合	5.29%	目標値	5.00%	5.25%	5.50%		5.00%
		実績値	5.41%	5.94%			

1-5 地域福祉の推進

施策の目指す姿

- 子どもから高齢者まで町民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、町民が積極的に福祉活動に取り組み、支え合いのまちづくりが進んでいます。
- 高齢者、障がい者、妊産婦や乳幼児を連れた保護者など全ての人が利用しやすい、ユニバーサルデザインによる優しいまちづくりが進んでいます。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	地域福祉の人材育成	所管課	保険福祉課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町社会福祉協議会主催による地域福祉に関する意識啓発の場である「朝日町福祉感謝祭」は、規模を縮小して「福祉大会」「講演会」を実施しました。 ・民生児童委員に関して、月1回の民生児童委員協議会を通じて、町から福祉制度の周知を行い、福祉に対する知識向上に協力ができました。 ・民生児童委員は、12月に19名の方が改選され、無事に委嘱を受けられました。概ね委員数の確保ができました。 ・認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するため養成講座を1回実施し、33名の方が参加しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町社会福祉協議会主催による「朝日町福祉感謝祭」を開催し、地域福祉に関する意識啓発を引き続き行います。 ・引き続き、民生児童委員に関して、月1回の民生児童委員協議会を通じて、町から福祉制度の周知を行い、福祉に対する知識向上に協力していきます。 ・認知症サポーターを養成するため、引き続き養成講座を開催します。 			

主要施策2	地域福祉の体制づくり	所管課	保険福祉課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員に関して、月1回の民生児童委員協議会を通じ、町から高齢者、障害者、生活困窮者等の情報提供の協力を行ったことで、円滑に民生委員活動の実施ができました。 ・6月に移動販売事業者1社と高齢者、障がい者、子どもその他住民に対する見守り活動に関する協定の締結を行いました。また、3月に医薬品等販売事業者1社と締結した包括連携協定にも高齢者、障がい者、子どもその他住民に対する見守り活動に関する内容を盛り込み、目標以上の協定締結数となりました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、民生児童委員に関して、月1回の協議会を通じ、町から高齢者、障害者、生活困窮者等の情報提供を行い、円滑な活動の実施に協力していきます。 ・見守りに関する協定については、新たな企業や各種団体との協定締結を検討し、協定に基づく見守り活動が幅広く実施されるよう、引き続き見守り活動への協力事業者を増やしていきます。 			

主要施策3	福祉サービスの充実	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・4月に成年後見人制度の利用促進を図るため、朝日町社会福祉協議会に「中核機関」を設置しました。中核機関事業の取り組みとして、11月に協議会を開催するとともに、ケース会議を2回実施し、1件のケースでは成年後見制度利用に向け、家庭裁判所に町長申し立てを行いました。</p> <p>※【実施計画】成年後見人中核機関事業</p> <p>・徘徊高齢者SOSメールについては、対象者の情報が文字情報しか送信できないシステムから画像データも送信できるシステムへ改修を実施しました。ただし、既存登録者のみへの周知であったため、メールマガジン登録者数については伸び悩む結果となりました。</p> <p>・老人性難聴が認知機能低下のリスクとされていること、また、補聴器の使用により生活の質（QOL）向上を図るため、75歳以上の身体障害者手帳交付者以外の日常生活で支障のある難聴者を対象とした補聴器購入費用助成事業を実施し、9名の方に助成金を支給しました。ただし、75歳以上では既に補聴器を持っているという意見もあり、想定していたよりも申請は伸びませんでした。</p> <p>※【実施計画】高齢者補聴器購入費用助成事業</p> <p>・成年後見制度や認知症に関する講演会など住民向け講演会を2回開催しました。</p> <p>・令和4年度から開始した新たな認知症カフェについては年間4回実施、延べ93人が参加しました。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・引き続き、成年後見制度の利用促進を図るため、朝日町社会福祉協議会に「成年後見中核機関」を設置し、協議会、ケース会議等を実施します。</p> <p>※【実施計画】成年後見人中核機関事業</p> <p>・徘徊高齢者SOSメールについては改めて住民全体への周知をするため、9月の世界アルツハイマー月間と併せて周知を行う予定です。</p> <p>・身体障害者手帳交付者以外の日常生活で支障のある高齢の難聴者を対象とした補聴器購入費用助成事業については、75歳以上だと既に持っているという意見を踏まえ、対象年齢を拡大し65歳以上を対象とします。</p> <p>※【実施計画】高齢者補聴器購入費用助成事業</p> <p>・認知症カフェについては認知症グループホームへ直接出向いて事業を行うなど、認知症について正しく理解ができるような新たな取組を行う予定です。</p>			

主要施策4	人にやさしい環境整備の推進	所管課	保険福祉課、産業建設課、総務課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方に、ヘルプマーク43件、ヘルプカード20件を配付しました。 ・12月の障害者週間に合わせて、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方への理解促進として「ヘルプカード」について町広報紙に掲載しました。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄伊勢朝日駅のバリアフリー化について、事業者と協議を実施しました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想において、バリアフリーやユニバーサルデザインに対応した施設環境の整備に関する内容を記載しました。 <p>※【実施計画】新庁舎建設事業</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「ヘルプカード」や「ヘルプマーク」について、普及及び理解促進のために町広報紙に掲載します。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄伊勢朝日駅のバリアフリー化について、引き続き事業者と協議し、予算化に取り組みます。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より策定予定の新庁舎建設基本計画において、昨年度策定した基本構想の記載内容を精査し、バリアフリーやユニバーサルデザインへの対応について記載していきます。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
ボランティアセンター登録者数	253人	目標値	260人	280人	370人		375人
		実績値	252人	366人			
民生委員・児童委員数	20人	目標値	20人	20人	20人		23人
		実績値	19人	19人			
見守りに関する協定数	1協定	目標値	2協定	3協定	5協定		5協定
		実績値	2協定	4協定			
地域福祉計画の策定	未策定	目標値	-	-	-		策定済
		実績値	-	-			

1-6 社会保障の充実

施策の目指す姿

- 各種社会保障制度は、健全な財政のもと適正かつ安定的に運営され、支援を必要とする人が安心して支援を受けられるような制度として構築されています。
- 最低限度の生活が保障されるとともに、その自立を支援するためのセーフティネットが、県や関係機関と連携のもと確保されています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	公的保険制度の健全な運営	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・高額療養費支給率の更なる向上のため、高額療養費の手続簡素化における口座登録は年度末時点で勧奨138世帯のうち申請済123世帯であり、約90%の世帯が登録完了し、手続きの簡略化が進んでいます。(国民健康保険) ・介護給付適正化の一環としてケアプラン点検を2件実施しました。(介護保険) ・10月から窓口負担割合の見直しにより2割負担が施行されましたが、適切に周知・説明が行えた結果、特に混乱等はありませんでした。(後期高齢者医療) ・滞納整理実施の情報収集を行い、滞納整理に関する書式を整えました。今後、マニュアル内容の精査を行います。(介護保険・後期高齢者医療保険) 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・高額療養費の手続簡素化サービスを継続し、今後も新たに高額療養費の対象となった世帯に対して口座登録勧奨を継続します。(国民健康保険) ・ケアプラン点検を年度内に2件実施する予定です。(介護保険) ・第10次朝日町高齢者保健福祉計画・第9期朝日町介護保険事業計画の策定を行います。(介護保険) ・被保険者間の負担の公平を図る観点から、滞納整理を進めます。(介護保険・後期高齢者医療保険) 			

主要施策2	国民年金制度の周知	所管課	町民環境課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金保険料の納付案内について町広報紙6月号に掲載するとともに、国民年金の概要、学生納付特例制度、免除・納付猶予制度について町広報紙1月号に掲載を行い啓発活動を実施しました。また、窓口で国民年金加入、保険料免除申請等の案内、納付督促、チラシの配布を実施しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・年金事務所と連携し、国民年金制度、納付の割引制度の案内を実施します。 			

主要施策3	生活困窮者に対する支援	所管課	保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・生活が困窮されている方に対し、必要に応じた適切な支援が受けられるように各関係機関と連携しました。 ・生活保護が必要な方には、困窮の程度と緊急度に応じて適切に保護が受けられるように実施機関である県と連携しました。 ・相談しやすい窓口とするため、正面玄関へ案内板を設置しました。 ・コロナ過における原油価格・物価高騰等の影響により、真に生活に困っている方々への支援措置の強化として、住民税非課税世帯等臨時特別給付金については、対象となった109世帯に1世帯10万円、合計1,090万円を支給しました。(令和3年度432世帯、4,320万円支給済) ・物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯等に対する電力、ガス、食料品等価格高騰緊急支援給付金については、対象となった496世帯に1世帯5万円、合計2,480万円を支給しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、生活が困窮されている方に対し、必要に応じた適切な支援が受けられるように各関係機関と連携していきます。 ・生活保護が必要な方には、引き続き困窮の程度と緊急度に応じて適切に保護が受けられるように実施機関である県と連携していきます。 ・低所得世帯等に対する給付金事業については、電力、ガス、食料品等価格高騰重点支援給付金として1世帯あたり3万円を支給する事業を実施する予定です。 			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
国民健康保険料現年分収納率	95.3%	目標値	95.3%	95.8%	96.3%		97.3%
		実績値	95.4%	95.2%			
国民健康保険特定健診受診率【再掲】	47.4%	目標値	55.6%	57.6%	60.0%		60.0%
		実績値	43.0%	48.5%			
国民健康保険特定保健指導率【再掲】	52.5%	目標値	52.0%	55.9%	60.0%		60.0%
		実績値	22.8%	51.5%			
後期高齢者健診受診率【再掲】	47.6%	目標値	46.0%	47.0%	48.0%		50.0%
		実績値	48.0%	46.0%			
後期高齢者歯科検診受診率【再掲】	26.5%	目標値	26.0%	27.0%	28.0%		30.0%
		実績値	25.2%	18.6%			
福祉総合相談窓口の整備	未整備	目標値	-	-	-		整備済
		実績値	-	-			

2-1 学校教育の充実

施策の目指す姿

- 子どもたちは、良好な教育環境のもとで、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育み、知・徳・体のバランスの取れた、本町の将来を担う人材として生きる力を身につけ成長しています。
- グローバル化や情報化の進展に対応できる基礎能力を養うための外国語教育やプログラミング教育などの教育環境が整い、時代に即した能力を育てています。
- 学校、家庭及び地域の連携とともに、あらゆる教育資源を生かした、子どもたちの能力を最大限に伸ばす教育環境が整っています。
- 子どもたちを犯罪や災害から守る体制が整備され、子どもたちの安全・安心が確保されています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	確かな学力育成	所管課	あさひ園、教育課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムテーマを「言葉」と「人間関係」、「食育」として取り組みを進めました。この取り組みに対し、学校関係者評価として、「クラス内で子ども自身が園生活で困っていることなどに対し、個々に寄り添い、少しずつ達成感や楽しさを味わうことができるよう支援を行っている。」と評価を受けた一方で、心の育ちや人権学習を意識した取り組みが今後の課題となっています。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を育成するため、基礎学力充実講師（小学校5人・中学校4人）やALT（小中学校にそれぞれ1人）を配置するとともに、小学校に理科支援員（1人）及び外国語活動指導員（1人）を配置しました。 ・児童生徒の主体的な学びを推進するため、全ての教員（常勤・非常勤講師ともに）が授業力の向上をめざし、年1回以上、指導主事を招へいた研究授業を実施し、指導力の向上・授業改善を図りました。加えて、1人1台端末の学習における効果的な活用について研修を進めた結果、全国学力学習状況調査において、小中学校ともに平均正答率が全国平均を大きく上回りました（小学校：国語（+7.3pt）算数（+6.8pt）理科（+9.7pt）中学校：国語（+6.4pt）数学（+10.8pt）理科（+6.7pt））。 ・パソコン端末持ち帰りのためのセキュリティ対策、サーバー設置及びACアダプター・ケースを整備し、9月よりパソコン端末の持ち帰りを実施しました。そのため、パソコン端末の家庭での活用の推進が今後の課題となっています。 <p>※【実施計画】小中学校務用ネットワーク分離のためのサーバー構築業務委託事業</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流など園内での縦のつながりを意識した取り組みを通じて、人権意識や心の育ちを向上させる活動に取り組みます。 ・学校関係者評価などの客観的な評価を取り入れ、実践、評価、改善のサイクルをとって学力の育成に取り組みます。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を育成するため、基礎学力充実講師やALT等を配置します。 ・授業力を向上できるよう、全ての教員が指導主事を招へいた研究授業を実施します。 ・家庭での学習習慣を定着させるとともに、主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、パソコン端末の効果的な活用を推進します。 			

主要施策2	豊かな心の育成	所管課	教育課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の「できた」「分かった」等の達成感を味わうことができるよう、一人ひとりの実態を把握し、全ての教育活動において取り組みを進めました。 ・小学校5年生で、農業体験を実施しました。また、小学校社会科において、地元で働く人々や朝日町の歴史など、地域を題材にした教材を使った授業を実施するとともに、副読本「わたしたちの朝日町」を活用しました。 ・発達段階に応じた豊かな人権感覚を系統的に育むため、中学校区人権教育推進計画及び人権教育カリキュラムを作成しました。 ・中学校では、学校だより「朝風」を通じて、「心づくり」等をキーワードに、「人間力」の大切さについて、生徒・保護者に啓発しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童生徒の豊かな心の育成のため、一人ひとりを大切にしたい教育活動を継続していきます。 ・今年度作成した中学校区人権教育推進計画・人権教育カリキュラムを活用した、人権教育を実践します。また、小中間で成果・課題を共有することで、中学校区人権教育推進計画・人権教育カリキュラムのブラッシュアップを図ります。 ・引き続き、学校だより「朝風」を通じて、「人間力」を育むために必要な「共感力」等について、生徒・保護者に啓発していきます。 			

主要施策3	健やかな体の育成と食育・健康教育の充実	所管課	教育課
■令和4年度の進展度		C	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある体育授業づくりや5分間運動など授業の初めに主運動につながる運動を取り入れる等により、子どもたちが運動の楽しさや喜びを感じることを通して子どもたちの体力向上をめざしました。 ・小学5年生、中学2年生の体力・運動能力を測る全8種目の合計点は、前回調査と比較して、小学校女子と中学校男子は上昇、小学校男子と中学校女子は低下していましたが、いずれも大きな変化ではありませんでした。また、肥満割合においては、中学校女子を除いて、全国の傾向と同様に増加しました。コロナ禍により運動量と食生活のバランスが崩れたことがその要因ではないかと推察しています。 ・部活動の充実を図るため、部活動指導協力員を1人配置しました。部活動については、令和5年度からの休日部活動の段階的な地域移行が進められるよう、準備を進める必要があります。 ・全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙における基本的な生活習慣を問う質問で、基本的な生活習慣は県との比較では良好な結果となっていました。 ・学校給食において、シタケなどの地元食材を活用するとともに、その生産過程について学ぶなどの食育を実施しました。また、小学校低学年において、野菜栽培や給食食材の下処理などの体験学習を実施しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力向上を図るため、魅力ある体育授業づくりを継続していきます。 ・家庭との連携を図り、基本的な生活習慣の維持向上を図ります。 ・生涯学習課等と連携し、休日部活動の段階的な地域移行を実施します。 			

主要施策4	特別支援教育の充実	所管課	教育課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校にそれぞれ特別支援教育支援員（小学校5人、中学校2人）・介助員（小学校9人、中学校4人）を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒に対する適切な指導・支援を行いました。 ・教職員研修会において、特別支援教育に係る内容の研修を実施し、教職員の資質向上を図りました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒に対する適切な指導・支援を行うために、引き続き、特別支援教育支援員・介助員を配置するとともに、教職員の資質向上のための研修会等を実施します。 			

主要施策5	いじめ・暴力・不登校のない学校づくり	所管課	教育課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に心の教室相談員を配置するなど、教育相談体制の充実を図りましたが、不登校児童生徒が多い現状があります。 ・学期に1回以上のいじめアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めました。 ・児童生徒の状況把握とより良い学級集団作りのため、小学校3年生以上と中学校全学年を対象にQU調査（児童生徒理解調査）を2回実施しました。その結果をもとに、分析及び学級改善のため専門家を招いた校内研修会を行うことで、より良い学級集団作りに生かすことができました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・登校することはできるが教室に入ることができない生徒のために、校内通級教室を新たに開設するとともに、専任の支援員を配置します。 ・不登校児童生徒への支援が途切れることがないよう、県によるスクールカウンセラー配置がない3月に、スクールカウンセラー配置を行います。 ・学期に1回以上のいじめアンケート調査等を行い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、QU調査（児童生徒理解調査）を実施して、児童生徒の状況把握とより良い学級集団作りに取り組みます。 			

主要施策6	子どもたちの安全・安心の確保	所管課	教育課、総務課、産業建設課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等の活動を行いました。 ・警察及び交通安全協会と連携し、秋の全国交通安全運動に合わせ、9月28日に朝日中学校が「自転車交通安全モデル校」として四日市北警察署長より指定を受け、同日生徒の自転車安全点検を実施しました。 ・事件情報等について、教育委員会を通じ各学校と情報共有を行いました。 <p><教育課、総務課、産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望内容の精査を行い、各管理者で必要な対策として側溝蓋の設置、水路の浚渫、県道跨線橋ガードパイプ・ラバーポール設置、外側線再塗装、舗装修繕を行いました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時における子どもの安全を守るため、学校・教育委員会、警察、自治体、家庭、地域の団体等の連携による安全推進体制の見直し・強化に取り組みます。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き警察、防犯協会、交通安全協会等の関係機関等と連携し、有事の際の迅速な情報共有など、連携強化に努めます。 <p><教育課、総務課、産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望の把握に努め、各管理者で必要な対策を講じます。 			

主要施策7	教職員の資質向上	所管課	教育課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・初任者を対象に、朝日町の文化や歴史について学ぶ研修会を実施しました。 ・小中学校すべての教員が、北勢教育支援事務所の指導主事を招聘した個人授業研を実施しました。また、指導主事による、特別支援教育支援員及び特別支援学級介助員のサポート研修を実施しました。 ・朝日町教職員研修会を実施し、教職員の資質向上に努めました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・北勢教育支援事務所の指導主事を招へいする個人授業研や、朝日町教育委員会指導主事による特別支援教育支援員及び特別支援学級介助員のサポート研修を実施します。 ・教職員の資質向上を図るための、教職員研修会を実施します。 ・学校におけるコンプライアンスの推進を図ります。 			

主要施策8	学校防災への取り組み	所管課	あさひ園、教育課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の防災訓練計画に沿って、毎月1回の避難訓練等を実施しました。 ・5月には保護者への緊急引き渡し訓練、10月には小学校と合同で津波避難訓練を行い、避難計画に即した訓練を実施しました。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災計画に基づき、小学校では4月、9月、10月（園と合同実施）、1月に、中学校では4月、9月に、事前・事後指導に三重県教育委員会作成の防災ノートも活用し、避難訓練を実施しました。また、消防署と連携し、5月に中学1年生対象の防災教室、10月に小学3年生対象の防火教室を実施しました。 ・小学校では5月に緊急引き渡し訓練を実施しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を繰り返し行い、訓練結果から内容の見直しなど必要な検討を行います。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の防災に対する意識を高めるために、引き続き、避難訓練、防災教室等を実施します。 			

主要施策9	地域とともにある学校づくり	所管課	あさひ園、教育課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児は、老人クラブの方々と紙飛行機づくりなど昔ながらの遊びやいも苗植えを通じて交流をすることができました。 ・保護者の皆さんは、園児が発表会で使用する制作物を地域の方に教わりながら一緒に作り交流することができました。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校とともに、コミュニティスクール（学校運営協議会）を小学校で3回、中学校で2回開催し、学校運営の成果や課題等について共有するとともに、地域とともにある学校づくりについて意見交換をしました。 ・朝日町文化祭に、朝日中学校プラスバンド部が出演するなど、地域との交流を図りました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々との関わりを通じて言葉遣いなど道徳性を養う取り組みを行います。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール等を活用し、「学校から地域への積極的な情報提供」「学校と地域との協力体制の充実」「学校の活性化」等の取組を丁寧に継続していくことで、「家庭・地域教育力の向上」「地域の活性化」といった成果につなげられるよう、地域とともにある学校づくりを推進します。 			

主要施策10	学校施設の充実	所管課	教育課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・老朽化及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中学校トイレ改修工事にあたり改修工事設計業務を委託し、改修工事設計書が完成しました。</p> <p>※【実施計画】中学校トイレ改修事業</p> <p>・児童の健康と安全を確保するため、老朽化した小学校給食食器を令和3年度から令和6年度まで、毎年1種類ずつ更新することとし、今年度は菜皿960枚を購入しました。</p> <p>※【実施計画】小学校給食食器購入事業</p> <p>・既存の電子黒板のリース期間満了に伴い、更新を行い新たに大型電子黒板を12月から小中学校の授業で使用しています。</p> <p>※【実施計画】小中学校電子黒板リース事業</p> <p>・学校における働き方改革推進のため、令和5年度からの学校給食公会計に向けて給食費システムを3月に導入しました。</p> <p>※【実施計画】学校給食公会計導入事業</p> <p>・セキュリティ強化のため、朝日小中学校のHPを8月に更新しましたが、今後、運用保守管理業務の締結が必要です。</p> <p>※【実施計画】小中学校HP更新事業</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・中学校トイレ改修事業はトイレ改修工事設計業務が完了したことから、続いて夏休み中にトイレ改修工事を実施します。</p> <p>※【実施計画】中学校トイレ改修事業</p> <p>・小学校プレハブ校舎建設時に設置したエアコンの老朽化に伴い、9台を更新します。</p> <p>※【実施計画】小学校プレハブ校舎エアコン更新事業</p> <p>・引き続き小学校給食食器の更新として、給食食器ボール(465ml)880枚を購入します。</p> <p>※【実施計画】小学校給食食器購入事業</p> <p>・中学校生徒用パソコン502台、小中校務用パソコン91台を更新します。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
全国学力状況調査の標準化得点（平均を100としたもの）の全国との比較	小6 103.0 中3 103.5	目標値	小6 103.5 中3 104.0	小6 103.5 中3 104.0	小6 103.5 中3 104.0	/	小6 105.0 中3 105.0
		実績値	小6 103.0 中3 103.5	小6 103.0 中3 103.5			
体力テストの総合評価が「A」・「B」・「C」の子どもの割合（各学年男女平均）※	小5 78.2% 中2 79.8%	目標値	小5 80.0 中2 80.0	小5 80.0 中2 80.0	小5 80.0 中2 80.0	/	小5 85.0 中2 85.0
		実績値	小5 69.3 中2 79.5	小5 70.8 中2 76.4			
コミュニティ・スクールの設置	未設置	目標値	設置済	－	－	/	設置済
		実績値	設置済	－			
トイレの洋式化・多機能トイレの整備	一部整備	目標値	－	中学校トイレ改修設計済	中学校トイレ改修工事施工	/	整備済
		実績値	－	中学校トイレ改修設計済			
照明器具のLED化率	0%	目標値	－	－	－	/	100%
		実績値	－	－			
老朽化に伴う大規模改造	一部整備	目標値	－	－	－	/	老朽箇所整備済
		実績値	－	－			

※スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における総合評価が「A」・「B」・「C」・「D」・「E」の5段階のうち上位3段階である「A」・「B」・「C」の公立小中学校の割合。

2-2 国際社会に向けた人材育成

施策の目指す姿

○国際的な課題の理解や英語コミュニケーション能力を養う学習機会、さらに国内外における異文化体験や国際交流等の機会が進み、国際社会に対応できるグローバル人材が育っています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	国際社会に向けた人材育成	所管課	あさひ園、教育課、生涯学習課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際的な学習機会の確保のため外国人英語指導助手を年8回招き、季節に合った歌や遊びを通じて多文化に触れる感覚を養うことができました。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> 英語コミュニケーション能力等を育むため、ALTを小中学校にそれぞれ1人、外国語活動指導員を小学校に1人配置するとともに、小学校に配置のALTについては、あさひ園での園児との交流を定期的に行いました。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館教室において外国人講師を招いた、英会話教室を月1回程度開催しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校への学びの接続を意識し、外国人英語指導助手による交流事業を継続します。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> 英語コミュニケーション能力を養うため、引き続き、ALTを小中学校にそれぞれ1人、外国語活動指導員を小学校に1人配置します。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き公民館教室において外国人講師を招いた、英会話教室を月1回程度開催します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
外国人英語指導助手(ALT)によるあさひ園での交流回数	9回	目標値	9回	9回	9回		10回
		実績値	8回	8回			

2-3 青少年の健全育成

施策の目指す姿

○家庭や地域が一体となって青少年の見守りや、育成のための様々な体験機会が創出されるなどして、健やかで活力ある青少年が育っています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	青少年活動の促進	所管課	生涯学習課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・「令和5年二十歳のつどい(旧称：朝日町成人式)」を令和5年1月8日に開催しました。134名（内町外13名）が参加しました。</p> <p>・朝日町青少年育成町民会議として、夏休み補導活動2回、園小中への物品購入補助、あさひ子ども110番の家啓発活動を行いました。これまで主な活動場所であったサマーフェスタの見直しが決定したことから、代替の活動内容を検討する必要があります。</p> <p>・子ども会については、感染症対策を考慮した代替行事を実施しました。コロナ禍以前ほど参加者が集まらない状況が見られ、事業の開催について、規模や内容を見直す必要があります。</p> <p>・放課後子ども教室は新型コロナウイルス感染症の影響により小学1年生のみ対象に年間10回開催と縮小しておりましたが、令和4年度よりコロナ禍前に戻し小学2年生まで対象としました。対象学年を拡大してほしいとの要望があるため検討していく必要があります。</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p>・成人を祝う式典については、民法改正により令和4年4月から成年年齢が18歳となりましたが、朝日町では今後も年度内20歳を迎えられる方を対象に式典を開催します。</p> <p>・朝日町青少年育成町民会議についてはサマーフェスタでの啓発活動に代わる活動を検討します。その他、夏休み補導活動・園小中への物品購入補助・あさひ子ども110番の家啓発活動は引き続き行います。</p> <p>・子ども会については、できる限りコロナ禍前の行事数を行えるよう、規模や内容を見直しつつ活動していきます。</p> <p>・放課後子ども教室は、対象者を小学3年生まで拡大し、募集定員を増やす方法を検討していきます。申込方法については働いている保護者の方でも申しやすい方法を引き続き実施していきます。さらには地域学校協働活動推進員の設置や地域住民を交えた教室の開催を検討していきます。</p>			

主要施策2	青少年育成環境の充実	所管課	教育課、生涯学習課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><教育課></p> <p>・ネットモラル教室「スマホ・インターネットの安全で正しい使い方」では、【インターネットの世界とは】【インターネット上でのトラブル事例】【自分たちを守るために】という3つの内容について、小学6年生（6月16日）・中学1年生（5月20日）を対象に実施しました。</p> <p><生涯学習課></p> <p>・朝日町少年補導員の夜間パトロールについては、コロナ禍において、密室となりやすい車での活動であることから、通常の場合よりも感染の懸念が強く、可能な範囲での活動を行いました（16回実施）。</p> <p>・「あさひ・子ども110番の家」を93件設置しました。高齢等を理由に辞退される場合があり、件数は微減しています。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><教育課></p> <p>・児童生徒のネットモラルに対する意識を高めるために、引き続き、ネットモラル教室を実施します。</p> <p><生涯学習課></p> <p>・朝日町少年補導員の夜間パトロールについては、地域の青少年非行の抑止力となるよう、今後も朝日交番との連携を図りながら、可能な範囲で活動を継続していきます。</p> <p>・「あさひ・子ども110番の家」の普及啓発を行います。</p>			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
放課後子ども教室年間平均参加者数	19人	目標値					現状維持以上
		実績値	14人	42人			
子ども会他団体と連携した行事数	2行事	目標値	1行事	2行事	2行事		5行事
		実績値	0行事	1行事			
補導件数	0件	目標値					0件
		実績値	0件	0件			
あさひ・子ども110番の家の加入者数	92人	目標値	95人	100人	100人		120人
		実績値	94人	93人			

2-4 生涯学習の推進

施策の目指す姿

- 町民の一人一人が充実した人生を送れるよう、年齢にかかわらず生涯において、自分に合ったテーマで、いつでも、どこでも、誰でも学習できる機会に恵まれ、生き生きとした学習活動が展開されています。
- 生涯学習で学んだ成果を地域や社会で生かすとともに、自らも学習機会の担い手として活躍しています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	生涯学習の推進	所管課	生涯学習課、文化課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動は、コロナ禍ではあったが感染症対策を講じ11教室の活動ができました。そのうち新規教室を2教室開催することができ、次年度も引き続き開催していきます。固定化、高齢化が進んでいるため新規教室を積極的に開講していく必要があります。 ・前年度に引き続き夏休み期間中に小学生を対象とした夏休み対策講座を開催しました。 <p><文化課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館、博物館についてはコロナ禍においても利用者が安心して学習機会の維持、確保できるよう感染症対策を行い、事業を実施し、開館しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動については講師登録制度を引き続き実施し、新規教室（できれば若い世代が参加できるような）をできる限り開催していくため、内容や開催時間を検討していきます。また、公民館のデジタル活用の観点からスマートフォン教室の開催を検討していきます。 ・前年度に引き続き夏休み期間中に小学生（4～6年生）を対象とした夏休み対策講座（全5回）を開催する予定です。 <p><文化課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県や日本博物館協会、日本図書館協会が出す指針などを踏まえて、利用者が安心して学習機会の維持、確保できる適切な環境の構築を図ります。 ・老朽化した教育文化施設の受電設備を更新します。 <p>※【実施計画】教育文化施設受変電設備更新事業</p>			

主要施策2	図書館の充実	所管課	文化課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、感染症対策を行いながらの運営となりましたが、貸出者数13,622人、貸出冊数72,670冊でした。また、読書環境の整備として、図書1,217冊を購入しました。 ・汚損や劣化が酷い絵本172冊を買替ました。 ・子どもから大人まで幅広い年齢層に図書館を利用してもらう為、乳幼児向けのイベントや成人向けの教室、朗読会を実施しました。 ・図書館資料の活用に繋げるため、夏休みサポートコーナーとして自由研究や読書感想文の参考になる本を書架から集めてテーマごとに展示を行いました。 			
※【実施計画】子どもの読書活動支援事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できるイベントとして「聞かせ屋。けいたろう 絵本ライブ」を開催しました（参加者数36人）。 ・開館25周年記念イベントとして絵本作家によるワークショップを開催しました（参加者数48人）。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け及び成人向けの事業を実施し、図書館の利用促進に努めます。 ・読書週間連携事業として、蔵書資料を活用した展示や関連イベントを実施します。 ・屋外やエントランスを活用した空間作りとして、図書館未利用者の利用促進に繋がる事業の実施を検討します。 			

主要施策3	博物館の充実	所管課	文化課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月展示替えを行うことで常設展の充実を図りました。 ・古文書学習会（全7回）及び文化教養講座（全3回）を企画開催し、参加者数は古文書学習会がのべ156人（7回分）、文化教養講座がのべ69人（3回分）となりました。 ・企画展「縄生廃寺からみる古代の眺め－古代寺院と社会－」（会期:令和4年11月2日～12月4日）を開催し、会期中840人の入館があったほか、併せて実施した関連講座は28人の参加を得ました。 			
※【実施計画】博物館展示会事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・俳句作品展「未来の俳人たち」を2回開催し、朝日小学校児童及び朝日中学校生徒による作品の展示を実施しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き毎月の展示替えを行うことで常設展の充実を図ります。 ・企画展「モノづくりの歴史展」（仮）を実施します。 			
※【実施計画】博物館展示会事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・古文書学習会（全7回）及び文化教養講座（全3回）を実施します。 ・朝日小学校児童及び朝日中学校の生徒による俳句作品展「未来の俳人たち」を2回開催します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
公民館利用者数	8,893人	目標値	6,500人	6,500人	7,000人	/	9,000人	
		実績値	5,828人	6,647人	/	/	/	
博物館年間来館者数	4,431人	目標値	1,150人	1,300人	2,000人	/	5,500人	
		実績値	1,078人	1,822人	/	/	/	
図書館の年間図書貸出冊数	75,682冊	目標値	63,000冊	72,000冊	78,000冊	/	82,000冊	
		実績値	71,883冊	72,670冊	/	/	/	
教育委員会 公民館教室 の教室数	11教室	目標値					現状維持 以上	
		実績値	9教室	11教室	/	/	/	/

2-5 スポーツの振興

施策の目指す姿

- 町民の誰もが目的や体力、年齢に応じてスポーツに親しみ、心身の健康と生きがいある生活を楽しんでいます。
- 運動施設の充実と指導者の確保が進み、スポーツ団体の活動が活発に行われ、多くの町民が参加しているスポーツのまちが実現しています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	スポーツの振興・普及	所管課	生涯学習課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・感染対策を行いながら朝日町体育協会行事（グランドゴルフ、ソフトボール、ソフトバレーボール、ダブルステニス、卓球）を開催し、概ね計画通りの事業が行われました。			
■ 令和5年度の取り組み方向			
・計画された大会等が円滑に実施できるよう開催場所、情報の提供など支援を行っていきます。			

主要施策2	スポーツクラブの活動支援	所管課	生涯学習課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・総合型地域スポーツクラブについてはクラブの運営が円滑に行えるよう運営費などの支援を行いました。			
・朝日町体育協会については、各専門部において計画している事業に対し支援を行いました。			
■ 令和5年度の取り組み方向			
・引き続き、スポーツクラブ、体育協会等の活動支援を行います。			

主要施策3	運動施設の維持管理	所管課	生涯学習課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・朝日町体育館について、照明のLED化に取り組みました。			
※【実施計画】体育館設備等改修事業			
・各種スポーツ活動等が円滑に実施できるよう運動施設の適切な維持管理を行い、老朽化部分の定期的な改修、修繕を実施しました。			
■ 令和5年度の取り組み方向			
・各種スポーツ活動等が円滑に実施できるよう運動施設の適切な維持管理を行い、老朽化部分の改修、修繕を進めます。			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
各種スポーツ大会（朝日体育協会主催）の参加者数	630人	目標値	80人	300人	300人		760人
		実績値	50人	268人			

2-6 歴史・文化の継承と活用

施策の目指す姿

- 貴重な歴史的・文化的資源が大切に保全され、この資源の活用による町民の歴史・文化意識の高揚と地域活性化が進んでいます。
- 文化財の展示や歴史・文化にかかわる学習が活発に行われ、さらに芸能・芸術活動も盛んで文化の香り高いまちづくりが進んでいます。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	文化財の保護と活用	所管課	文化課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・町有地の県史跡等は、定期的な除草作業を行い適切な管理につとめました。また、県史跡の縄生廃寺については博物館で関連する企画展を開催し、文化財保護啓発の一助としました。</p> <p>・文化財保護法にもとづく三重県文化財保護条例第48条第1項により、開発行為に伴う試掘調査を1件、工事立会を3件実施しました。</p> <p>・朝日町の歴史・文化の情報発信のため、古文書学習会（全7回）及び文化教養講座（全3回）を企画開催し、参加者数は古文書学習会がのべ156人（7回分）、文化教養講座がのべ69人（3回分）となりました。</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p>・古文書学習会（全7回）及び文化教養講座（全3回）を実施します。</p> <p>・今後も朝日町の歴史・文化を発信できるテーマなどで事業内容を検討します。</p>			

主要施策2	町史の編さん	所管課	広報・町史編さん課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・橘守部編では執筆委員会議を4回開催し、目次の検討、進捗状況の確認を行いました。また掲載資料の筆耕作業を継続するとともに、石水博物館や二松学舎大学付属図書館において資料調査を実施しました。</p> <p>・通史編・別編においては執筆委員会議を4回開催し、誌面デザインや構成の検討を行いました。また執筆者においては動植物の生態調査や古文書などの資料調査を行いました。</p> <p>・町史編さん事業の周知のため小学生を対象とした自然観察会（参加者4名）と大人を対象とした講演会（演題「近代朝日の村勢と東芝三重工場」、参加者29名）を開催しました。</p> <p>※【実施計画】町史編さん事業</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p>・橘守部編においては群馬県立文書館にて調査を行うとともに、編集・校正作業を進め、令和5年度末に『新修朝日町史 資料編3 橘守部』を刊行します。</p> <p>・通史編・別編においては令和6年10月刊行に向けて執筆者会議を開催し、進捗状況の確認を行うとともに誌面の内容について調整を行っていきます。また執筆者においては動植物の生態調査や古文書などの資料調査をすすめ、原稿の執筆・編集・校正作業を進めていきます。</p> <p>・町史編さん事業の周知のため、自然観察会や講演会などの事業を行います。</p> <p>※【実施計画】町史編さん事業</p>			

主要施策3	文化・芸術活動の推進と継承	所管課	生涯学習課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・公民館活動は、コロナ禍ではあったが感染症対策を講じ11教室の活動ができました。そのうち新規教室を2教室開催することができ、次年度も引き続き開催していきます。固定化、高齢化が進んでいるため新規教室を積極的に開講していく必要があります。</p> <p>・11月6日開催の朝日町文化祭については新型コロナウイルス感染症対策のため、屋外ブースの中止及び舞台前観覧席をなくし2階を開放するといった対策を講じての開催となりましたが、約1,000の方が来場されました。年々出展者が減っていることから、募集の方法などを検討していく必要があります。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・公民館活動については講師登録制度を引き続き実施し、新規教室（できれば若い世代が参加できるような）をできる限り開催していくため、内容や開催時間を検討していきます。また、公民館のデジタル活用の観点からスマートフォン教室の開催を検討していきます。</p> <p>・朝日町文化祭については年々出展者が減っていることから、募集の方法や開催方法などを検討していきます。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
博物館年間来館者数【再掲】	4,431人	目標値	1,150人	1,300人	2,000人		5,500人
		実績値	1,078人	1,822人			
博物館ホームページ年間アクセス数	22,501件	目標値	18,500件	22,000件	22,000件		23,000件
		実績値	21,572件	18,704件			
団体の発表会・展示会等の開催回数	3回	目標値	1回	2回	2回		4回
		実績値	1回	2回			

3-1 防災・消防の充実

施策の目指す姿

- 南海トラフ地震や洪水、土砂災害、高潮など様々な態様の風水害などから町民の生命と財産及び生活を守るため、災害に強いまちづくりを行い、平常時における準備や、災害発生時に迅速な対応ができる基盤と仕組みが整っています。
- 「自助（自分の命は自分で守る）」、「共助（自分達の地域は自分達で守る）」の推進、さらに「公助（行政機関による救助活動や物資の支援など）」により、町全体の防災力が強化されています。
- 四日市市消防本部と消防団が連携し、火災や災害など非常時に組織的かつ専門的に対応できる消防・救急体制が整っています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	災害に強いまちづくりの推進	所管課	防災保全課、産業建設課、総務課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報等発表時、災害発生時に迅速に対応できるよう災害時職員初動マニュアルに基づき朝日町災害対策本部を3回設置しました。 ・災害備蓄品の計画的な更新や充実、防災関連機器の適切な維持管理などはほぼ予定とおり取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症による影響もあり、防災訓練は縮小開催となりましたが、自主防災隊や一般参加者など約150名が参加し、避難所運営に関する訓練や応急手当などの救助教養訓練、炊き出し訓練を実施し、参加者は熱心に防災知識・技能習得などに取り組んでいただきました。 ・避難行動要支援者関連事業においては、制度内容や自治区協力の必要性や個別避難計画の作成における支援の必要性や支援者の発掘（登録）などの制度説明を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地区班長会が中止になるなど自治区へ出向くことができず、制度の詳細な理解を求めることができませんでした。 ・大規模風水害時の広域避難に関する「三泗地区1市3町の広域避難に関する会議」では、「三重県・三泗地区1市3町による災害時における広域避難等相互応援に関する協定」を9月26日に締結しました。また、締結後も、引き続き1市3町及び県とで連携するために担当者勉強会へ参加し、継続的な情報収集や情報交換を行いました。 ・災害情報配信の多角化については、朝日Sアラート機能の拡充（気象連携・ハザードマップの掲載などのカテゴリの追加）、ケーブルテレビチャンネルと朝日Sアラートの連携完了など、災害情報の配信に関し拡充が図れました。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町を含む2市3町から構成される員弁川改修事業促進期成同盟会より、河川改修事業の促進等について三重県に要望を行いました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の本部機能確保に関する内容を記載した新庁舎建設基本構想を策定しました。 <p>※【実施計画】新庁舎建設事業</p>			

■ 令和5年度の取り組み方向

<防災保全課>

- ・災害備蓄品の更新や充実などは、引き続き計画的に実施します。また、「防災」は日々変化するためタイミングを見計らい迅速な対応を目指します。
- ・避難行動要支援者関連事業においては、支援者の発掘（登録）、個別避難計画の作成を推進します。
- ・令和4年度末に県が指定した高潮浸水想定区域などを含めた内容を、朝日町地域防災計画へ追記し修正します。

※【実施計画】地域防災計画修正事業

- ・防災行政無線（同報系・移動系）やIP無線機など、防災伝達設備維持に努めます。

※【実施計画】防災情報設備維持管理事業

- ・避難所となる小学校体育館に非常用発電機の設置を推進します（6月補正事業）。

<産業建設課>

- ・災害に強いまちづくりの推進に寄与するため、員弁川改修事業促進期成同盟会より河川改修事業の促進等について、三重県に要望を行います。

<総務課>

- ・今年度より策定予定の新庁舎建設基本計画において、昨年度策定した基本構想の内容を精査し、災害時の本部機能確保に関する内容を記載していきます。

主要施策2	消防・救急体制の充実	所管課	防災保全課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・コロナ禍にあっても、公設消防（四日市市北消防署朝日川越分署）とは、継続的な情報交換や連携訓練を実施できました。また、消防団事業はコロナ禍のため縮小しながらの実施となりましたが、新型コロナウイルス感染症の位置づけが見直される中で、活動を実施できるかが今後の課題です。</p> <p>・社会環境の変化の中で減少する消防団員は、地域防災の中核を担う大きな役割があります。こうした中、消防団員確保の一環として出動手当の見直しなどの処遇改善が求められており、令和4年度に調査検討し、令和5年度からの実施することとなりました。</p> <p>・消防設備の充実に向けた第1分団消防車庫建設は完了しました。</p> <p>※【実施計画】消防団施設整備事業</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p>・消防団事業は、日々変化する施策であるため、新たな制度や情報を把握次第、迅速な対応を図ります。</p> <p>・運転免許区分において、消防車の運転ができない団員が出てきています。そのため、有事の際に確実に出勤ができるように、団員に対する運転免許取得補助制度の創出に向けて検討を開始します。</p>			

主要施策3	地域防災力の向上	所管課	防災保全課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災リーダーとなる方を育成するために、県が実施する自主防災組織の研修会に5名派遣しました。 ・延期や規模縮小とはなりましたが、地域防災力の向上の一環として、避難開設・救助教養・炊き出しなどのテーマ別の防災訓練を11月20日に開催し、自主防災隊や一般参加者など約150名が参加し、熱心に防災知識・技能習得などに取り組んでいただきました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域（共助）防災力を利用し、避難支援が必要となる要支援者に関する施策を進めます。 ・引き続き、有意義な研修会へ参加するなど地域（共助）防災力の向上を目指します。 ・地域住民の一人ひとりの防災意識の高揚を図るため、災害時要支援者の支援をテーマとした防災講演会を9月に開催予定です。 			

目標指標								
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
高潮ハザードマップの作成	検討中	目標値	策定中					
		実績値	完了					
朝日Sアートの登録者数	1,082人	目標値	1,200人	1,500人	2,700人		2,200人	
		実績値	2,222人	2,717人				
情報受信端末の整備	検討中	目標値	検討中	事業中止	—		整備予定	
		実績値	方向性の修正	—				
防災拠点への公衆無線LAN設備の設置	未設置	目標値	検討	検討	検討		設置予定	
		実績値	未設置	未設置				
避難行動要支援者避難援助プラン（個別計画）の策定	準備中	目標値	事業継続	事業継続	事業継続		随時更新	
		実績値	事業継続	事業継続				
消防水利の整備（水利包含率）	100%	目標値						維持
		実績値	100.0%	100.0%				
消防団員定数の充足率	100%	目標値						維持
		実績値	95.2%	98.4%				

3-2 防犯・交通安全の充実

施策の目指す姿

- 町民一人一人の防犯、交通安全及び消費者問題に関する意識・知識が高まり、地域団体、警察、行政が一体となって、誰もが安全で安心して暮らしやすいまちづくりが進んでいます。
- 防犯設備や交通安全設備が適正に整備、維持管理され、犯罪や交通事故が発生しにくい安全で安心な町が形成されています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	防犯意識の高揚と防犯活動の充実	所管課	総務課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・警察、防犯協会等の関係機関と連携し、広報活動等を通じて防犯意識の高揚に向けて啓発を行いました。 ・事件情報等について、警察等の関係機関と情報共有及び連携を行いました。 ・防犯に関する情報発信を町ホームページ、町広報紙への記事掲載、回覧等で行いました。 ・防犯灯などの防犯施設の設置及び維持・修繕について、要望等に基づき新設、改良及び更新工事を計14箇所行いました。 ・防犯カメラ（3基）について、3月より運用が開始されました。 <p>※【実施計画】防犯カメラ設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市北警察署朝日交番が令和4年9月5日から運用開始され、地域の防犯・交通安全のさらなる充実が図られました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き警察、防犯協会等の関係機関と連携し、情報共有及び広報活動等の連携強化に努めます。 ・朝日町学校安全体制整備協議会を通じ、地域防犯力の向上に向けた課題検討を行います。 ・事件情報及び防犯情報等の情報発信を各種媒体で行います。 ・防犯灯などの防犯施設の設置及び維持・修繕について、各地区の意向を踏まえ実施します。 ・令和5年度設置予定の防犯カメラ（3基）の整備を進めます。 <p>※【実施計画】防犯カメラ設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール導入に向けて、県警察と連携を図りながら導入計画の策定を行います。 			

主要施策2	交通安全対策の推進	所管課	総務課、産業建設課、教育課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等の活動を行いました。 ・カーブミラーなどの交通安全施設の設置及び維持・修繕について、要望等に基づき新設、改良及び更新工事を計13箇所行いました。 ・交通違反が多発している箇所について、警察に対し交通取締要望書を提出し町内の交通秩序の維持に努めました。 <p><教育課、総務課、産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望内容の精査を行い、各管理者で必要な対策として側溝蓋の設置、水路の浚渫、県道跨線橋ガードパイプ・ラバーポール設置、外側線再塗装、舗装修繕を行いました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等を含め連携強化に努めます。 ・カーブミラーなどの交通安全施設の設置及び維持・修繕について、各地区の意向を踏まえ実施します。 <p><教育課、総務課、産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望の把握に努め、各管理者で必要な対策を講じます。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時における子どもの安全を守るため、学校・教育委員会、警察、自治体、家庭、地域の団体等の連携による安全推進体制の見直し・強化に取り組めます。 			

主要施策3	消費者の安全・安心の確保	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害未然防止のため、町広報紙（5月号）等で啓発を実施しました。 ・消費者被害未然防止及び被害発生後の適切な対応のため、産業建設課窓口で消費者から30件の個別相談を受け付けました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害未然防止のため、町広報紙等で啓発を行います。 ・引き続き、消費者被害未然防止及び被害発生後の適切な対応のため、県消費生活センターと連携し相談体制の充実を図ります。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
刑法犯認知 件数	80件	目標値	76件	71件	70件		60件
		実績値	65件	77件			
交通事故発 生件数（人 身事故）	31件	目標値	29件	27件	26件		23件
		実績値	13件	15件			

3-3 都市基盤の整備・充実

施策の目指す姿

- 町内外の交流の活性化や町内交通の円滑化のため幹線道路、生活道路が整備、維持管理されており、誰もが安全で快適な道路や歩道が形成されています。
- 多様な世代が快適な暮らしを送ることができる住環境が形成され、誰もが住み続けたいと思える町となっています。
- 公園については、子どもの遊び場、大人の憩いの場として、安全で快適に利用できるよう、町民と協働した維持管理がなされています。
- 安全で良質な水が安定供給され、下水の適正処理により衛生的で快適な生活環境が保たれています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	道路・交通網の充実	所管課	産業建設課、保険福祉課、防災保全課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道1号北勢バイパス及び県道桑名川越線の早期完成に向けて、関係市町や三重県町村会と連携して国及び三重県に要望活動を行いました。 ・適正な道路機能を維持するため、道路パトロールを行うとともに、舗装修繕等を計画的に進めました。 <p>※【実施計画】1・2級町道等維持修繕事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全性を確保するため、町道3-3号線（東海道小向・縄生区間）のカラー舗装を実施しました。 <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業</p> <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者に配慮した地域特性に応じた利便性の高い移動手段の確保として、75歳以上の高齢者に対してはタクシー利用助成、障がい者に対してはタクシー利用助成もしくは燃料費助成を行っています。いずれの制度についても、1乗車につき650円の乗車券1枚までしか使えない制度でしたが、令和4年度より1乗車につき500円の乗車券2枚まで使えるよう、また、年間交付枚数も最大24枚から最大48枚へと制度の充実を行い、登録・利用につながるように努めた結果、75歳以上の高齢者タクシー利用助成につきましては、令和4年度末の登録者数は前年度末より52名増の344名となりました。 <p>※【実施計画】高齢者タクシー利用助成事業</p> <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に、近鉄伊勢朝日駅前駐輪場において、一部の利用者による乱雑な使用により良好な状態での維持管理はできませんでした。引き続き利用者のモラル向上に向けた取り組みや施設の維持手法や改修などの検討も必要です。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道1号北勢バイパス及び県道桑名川越線の早期完成に向けて、引き続き要望活動を実施します。 ・安全性や信頼性を確保した道路サービスを提供するため、橋梁及び道路施設長寿命化修繕計画を策定します。 <p>※【実施計画】1・2級町道等維持修繕事業</p> <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者に配慮した地域特性に応じた利便性の高い移動手段の確保として、75歳以上の高齢者に対するタクシー利用助成、及び障がい者に対するタクシー利用助成もしくは燃料費助成については、引き続き事業を実施します。 <p>※【実施計画】高齢者タクシー利用助成事業</p> <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄伊勢朝日駅前駐輪場施設維持の手法や改修などについて、調査を検討します。 			

主要施策2	良好な住宅環境の推進	所管課	企画情報課、産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発行為許可申請について、3件の申請を受け付け、適正な指導を実施しました。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の耐震診断や除去などへ誘導するため広報等を実施しました。その結果、耐震診断4件、除去4件を支援しました。また、診断を受けた方へ個別相談会の案内を送付し、3件の相談がありました。 ※【実施計画】木造住宅耐震補強事業 ・朝日町空家等対策計画に基づき、空家個別相談会を実施し、5件の相談がありました。 ・空家の利活用を図るため、空家バンクを構築しました。 ※【実施計画】空家等対策事業 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発行為許可申請について、引き続き、適正な指導を実施します。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の安全性向上のために、耐震化の必要性などについて啓発を実施するとともに、耐震診断及び除去等について支援を実施します。 ※【実施計画】木造住宅耐震補強事業 ・新たな空家の発生抑制のため、適切な管理や除却の促進を促し、空家バンク登録への働きかけや利活用への相談体制強化等を実施します。 			

主要施策3	公園・緑地の整備	所管課	企画情報課、防災保全課、町民環境課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町都市公園等清掃奉仕活動助成金交付要綱に基づく申請が6団体あり、公園の維持管理（清掃）が実施されました。申請団体数が目標値未達であり少ないのが課題となっていますが継続して申請団体数の増加に向けた啓発を行っています。 ・公園等清掃奉仕活動に対して、問合せの多い事項につき、「活動にかかる注意点等」として申請書類にかかる参考の添付資料を追加し、申請者への配慮に努めました。（令和5年度申請書類から） ・公園整備として、展望公園の東屋修繕、梅ヶ丘第1・2号児童公園と植松公園の樹木伐採、展望公園と植松公園の公園街灯の取替を行いました。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいパークに関しては、町有地管理人により適正な維持管理を実施しました。 <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・墓地公園区画の販売促進のため、人形供養祭にかかる案内チラシの回覧、町内金融機関への案内チラシの設置を行いました。墓地に対する考え方の多様化や、核家族社会の進行により販売実績が鈍化していることが課題です。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町都市公園等清掃奉仕活動団体の申請数を増加させる啓発を継続して行います。 ・公園整備については、維持管理が進むよう適切な修繕等に努めます。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、住民の憩いの場である「ふれあいパーク」が快適に利用される広場となるよう適正な維持管理に努めます。 <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・墓地に対する考え方が多様化しているためニーズを把握するとともに、販売促進活動を継続します。また、社会情勢の変化や生活様式に適した墓地公園の管理運営を行います。 			

主要施策4	安全で良質な水の安定供給・下水道事業の安定化	所管課	上下水道課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><上水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽管更新整備事業として、老朽化した配水管（内径25mm～100mm、延長725.7m）の布設替えを行いました。また、来年度施工予定している、配水管布設替工事の早期発注を目指し、測量・設計を行いました。 <p>※【実施計画】老朽管更新整備事業（測量・設計・工事）</p> <p><下水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道総合地震対策事業として、詳細設計完了後、人孔浮上対策防止工事（2基）を行いました。 <p>※【実施計画】下水道総合地震対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道事業業務継続計画（BCP）について、国土交通省から発出されているこれまでの最低限の下水道BCP作成例から、下水道BCP策定マニュアル2019年版（地震・津波、水害編）に沿って、詳細版のものを策定しました。 <p>※【実施計画】下水道事業業務継続計画（BCP）策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来にわたり安定した下水道事業の推進を図るため、固定資産調査・勘定科目設定・システム導入・例規等の整備を行い、下水道事業は地方公営企業法適用事業に移行できました。 <p>※【実施計画】公共下水道地方公営企業法適用事業</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><上水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽管更新整備事業は、昨年度測量・設計を行った配水管布設替工事を行います。また計画については差異や検討が必要なことがあるため見直しを行います。 <p>※【実施計画】老朽管更新整備事業</p> <p><下水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道総合地震対策事業は、人孔浮上防止対策工事を行います。 <p>※【実施計画】下水道総合地震対策事業</p>			

主要施策5	雨水排水対策の推進	所管課	上下水道課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> 雨水排水対策工事として、小向雨水幹線築造工事（U4500×1800 L=42m）を行いました。 令和5年度から施工を予定している国道1号平行部から、近鉄名古屋線までの区間について、詳細設計を行いました。 令和6年度から令和8年度で予定している国土交通省へ委託する事業費算出のため、積算業務を行いました。 <p>※【実施計画】小向雨水幹線整備事業</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度から令和8年度に予定している国土交通省への委託工事に備え、国道1号平行部について小向雨水幹線築造工事を行います。 小向雨水幹線築造工事のための用地買収及び借地等に関する用地交渉を行います。 <p>※【実施計画】小向雨水幹線整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水管理総合計画を作成するための浸水シミュレーションを行います。 <p>※【実施計画】内水浸水リスクマネジメント推進事業</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
町道舗装 繕率	7.4%	目標値	37.2%	50.5%	57.3%		100%	
		実績値	35.8%	49.2%				
昭和55年以前建 築の住宅戸数に 占める耐震性のな い住宅割合	70.4%	目標値	69.3%	68.8%	67.5%		66.9%	
		実績値	69.1%	68.1%				
公園等清掃 協力団体数	8団体	目標値	9団体	9団体	9団体		9団体	
		実績値	6団体	6団体				
老朽管の更 新件数	3工事/年	目標値						現状維持 以上
		実績値	3工事/年	3工事/年				
雨水幹線の 改修率	41.4%	目標値	42.1%	42.3%	42.5%		42.7%	
		実績値	42.1%	42.3%				

3-4 計画的な土地利用と景観形成の推進

施策の目指す姿

- 「持続可能な発展」を基本にし、豊かな自然環境、優良農地の保全・活用と市街地形成のための開発とバランスが取れた計画的な土地利用が行われています。
- 自然や歴史・文化などの地域資源を生かし、東海道まちなみ整備の推進による朝日町らしい景観が形成されています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	適正な土地利用の推進	所管課	企画情報課、産業建設課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <p>・朝日町都市計画マスタープラン及び朝日町立地適正化計画の見直しに向けた情報収集を行いました。見直し時期については、社会経済情勢の変化による土地利用の動向等を鑑み再度検討する必要があります。</p> <p><産業建設課></p> <p>・土地取引や公共事業の円滑化を図るとともに、災害復旧の迅速化のため、柿地区において一部地籍調査を完了しました。なお、未完了地区の地籍調査を継続的に実施する必要があります。</p> <p>※【実施計画】地籍調査事業</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <p>・朝日町都市計画マスタープラン及び朝日町立地適正化計画の見直しについて、引き続き情報収集を行うとともに、関係機関との連携を図りながら見直し時期について検討します。</p> <p><産業建設課></p> <p>・土地取引や公共事業の円滑化を図るとともに、災害復旧の迅速化のため、引き続き柿地区において計画的に地籍調査を実施します。</p> <p>※【実施計画】地籍調査事業</p>			

主要施策2	良好な景観形成の推進	所管課	産業建設課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日まちなみ検討会主催、朝日町共催により、東海道のまちなみを朝日の竹で作った花挿しで演出する取り組みを実施しました。また、ふれあいパークで開催した竹あかりの展示では、町民が作製した竹あかりの展示を行いました。</p> <p>・町民有志の団体による竹林整備が始まり、町で購入した樹木粉碎機の貸出（2団体、5回貸出）や補助制度（2団体、349千円）により活動を支援しました。</p> <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p>・朝日まちなみプランに基づく、東海道沿いの景観向上への取り組みをあさひ竹プロジェクト等と連携して、町民とともに推進します。</p> <p>・町民有志の団体による竹林整備を支援します。</p> <p>※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
朝日町立地 適正化計画 の見直し	—	目標値	一部見直し	—	—		見直し済
		実績値	一部見直し	—			
朝日町都市 計画マスタープ ランの見直し	—	目標値	—	—	—		見直し済
		実績値	—	—			
町民と連携し竹 等を活用した景 観向上等のイベ ント開催	—	目標値	→				毎年1回以上
		実績値	2回	2回			

3-5 循環型社会の推進と環境保全

施策の目指す姿

- ごみの発生抑制、再利用、再資源化を推進することにより、更なるごみの減量化が図られ、持続可能な循環型社会の形成が進んでいます。
- 地球温暖化防止に向けた環境教育、啓発活動を積極的に推進し、町民、企業、行政の環境意識が向上しています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	ごみの適正な収集・処理と減量化の推進	所管課	町民環境課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・コロナ禍で中止していたごみゼロ運動を3年ぶりに実施しました。</p> <p>・「ごみゼロ運動開催案内（5月号）、生ごみの水切り（6・9月号）、ごみゼロ運動結果報告・ごみ集積場の清潔保持（7月号）、家庭から出る草木の持ち込み案内（7・11月号）、企業エコネット活動、生ごみ処理機・処理容器の補助金制度案内（8月号）スプレー缶類の出し方（10月号）、食品ロス（10・1月号）、ごみ分別アプリの周知案内（12月号）再生ごみ 紙ごみの分別と出し方（2月号）、粗大ごみの出し方（3月号）について」を町広報紙へ掲載しました。ごみの出し方（10月）、年末年始のごみの収集（12月）の回覧を実施し啓発活動を行いました。依然としてルール違反ごみが排出されるので引き続き周知、啓発が課題です。</p> <p>・ごみステーションの不法・違反ごみに対する張り紙による注意喚起、分別意識の向上を図りました。</p> <p>・「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」などを含めたごみの分別に関する会議に参加し情報交換を行いました。また、法律に努力義務として規定されているプラスチックの分別・収集・処分の見直しが課題です。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・ごみの適正な分別・収集・処分に向けて引き続き啓発活動を実施します。</p> <p>・近隣他市町の動向に注視し、分別方法の見直しを含め今後の方向性を検討します。</p> <p>・ごみステーション管理手引きを作成し、自治区と協力体制のもと適正なごみステーションの管理を推進します。</p>			

主要施策2	ごみの不法投棄の防止	所管課	町民環境課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・不法投棄された箇所（5箇所）に警告看板（5箇所）を設置するとともに監視カメラ（1基）を設置し、不法投棄の抑制に努めました。しかしながら、不法投棄の発生抑制をいかに行うかが課題です。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・不法投棄防止のために、地域住民の方と連絡を密にし、引き続きパトロールを実施します。また、不法投棄が発見された場合、警察、関係機関と連携をとり、適切に対応します。</p>			

主要施策3	環境保全意識の高揚	所管課	町民環境課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町企業エコネット活動を実施しました（清掃活動・エコ通勤）。 ・生活環境の保全のため、イエローチョーク作戦（道に放置されている犬のフンをなくすための飼主へモラル啓発）案内（5月号）、空地の管理徹底（6月号）、スズメバチ駆除補助金等制度案内（8月号）、野外焼却禁止の案内（11月号）を町広報紙に掲載するとともに、回覧の実施、看板の設置により啓発を行いました。 ・雑草の生い茂った空き家や土地の所有者に対して除草依頼や適正管理へ向けた啓発や指導を行いました。 ・定期的な環境測定調査として、大気調査を庁舎屋上（4月～3月）及びスポーツ施設（7月～9月）において実施しました。また、水質調査を町内6カ所において実施しました。環境測定調査については、町ホームページにて結果報告を掲載しました。 ・飼い主のいない猫が繁殖して地域の生活環境を悪化させないために保健所、自治区、役場が連携し、柿及び埋縄でTNR活動を実施しました。 <p>[TNR：飼い主のいない猫が繁殖しないためにT（安全な確保）N（避妊手術）R（元の場所に戻す）活動のことです。]</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の保全のため、イエローチョーク作戦、空地の管理徹底、野外焼却も禁止等について広報等を行い、引き続き啓発活動を行います。 ・定期的な環境測定調査を実施して大気調査・水質調査結果をホームページに公表し、引き続き環境保全に努めます。 ・地域の安心安全及び環境保全を確保するため老朽化した自治区の火葬場（縄生地区は撤去済み）を解体撤去する場合は、解体撤去費用の一部を補助します（解体撤去費用の2分の1（上限200万円））。 ・地域猫によるふん尿被害等を防止するため地域猫の繁殖を抑える避妊等の手術費用の一部を補助（上限メス7千円、オス5千円）するとともに、TNR活動を継続します。 			

主要施策4	地球温暖化防止の推進	所管課	町民環境課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町地球温暖化実行計画に基づき、地球温暖化防止対策実行計画策定委員会を書面にて開催し、温室効果ガス削減に向けて職員の意識レベルの向上を図りました。また、電気・ガス・ガソリン等の使用料を把握し、各職場で情報共有を行うとともに、昼休みにおいて業務に支障がない程度に間引き消灯を実施しました。さらに職員に対する意識レベル向上が必要です。 ・町ホームページにて、朝日町地球温暖化対策実行計画の評価を行い、公表しました。 ・朝日町地球温暖化対策実行計画は、計画最終年度が令和5年度のため見直しに向けて業務執行しました。 ・企業エコネット活動を通じて清掃活動やエコ通勤を実施し、参加企業と情報共有をしました。企業エコネットの参加企業を増やすことが課題です。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地球温暖化防止の推進のため、職員の意識レベルの向上に努めます。 ・朝日町地球温暖化対策実行計画は、令和6年度から計画開始に向けて見直しを進めます。 ・企業エコネット活動を引き続き実施し、参加企業の地球温暖化防止の推進に努めます。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
町民1人が1日に出すごみの量	534g [※]	目標値	533g	530g	530g		530g [※]	
		実績値	567g	*				
環境問題・観測地点数	11地点	目標値	→					現状維持以上
		実績値	11地点	11地点				
企業エコネット参加事業社数	5社	目標値	6社	6社	7社		7社	
		実績値	6社	6社				

※現状値及び目標値のごみの量の数値は、一般廃棄物処理実態調査（令和元年度実績）も数値から算出した値。

4-1 農業の振興

施策の目指す姿

- 農業が持つ多面的機能（洪水を防ぐ機能、生き物のすみかになる機能、癒しや安らぎをもたらす機能など）が、維持されるよう地域ぐるみによる農地の保全・活用が行われています。
- 担い手の確保による農業の経営体制の強化、農作物の高品質化・ブランド化や生産性の向上及び地産地消が進んでいます。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	農業生産基盤の維持向上	所管課	産業建設課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・多面的機能支援事業において、活動組織が行う老朽化した農業施設の長寿命化に対する支援を行い、農地や農業施設の適正な維持・改修を推進するため、2団体に補助金を交付しました。</p> <p>※【実施計画】多面的機能支援事業</p> <p>・農作物への被害防止のため、檻の設置やパトロールを実施しました。</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p>・農業の持つ多面的な機能の保全・活用や農業の生産基盤を整備するため、地域ぐるみの共同活動や農業施設の修繕を支援する補助金等で、農地や農業施設の適正な維持・改修を推進します。</p> <p>※【実施計画】多面的機能支援事業</p> <p>・農作物への被害防止のため、引き続き檻の設置やパトロールを実施します。</p>			

主要施策2	農業の担い手の育成・確保	所管課	産業建設課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・農地の集積・集約化を推進し、農地区画拡大の補助金交付により担い手の経営拡大・効率化の支援を行い、農地利用集積率は65.4%となりました。</p> <p>※【実施計画】担い手対策事業</p> <p>・「農事組合法人 匠ファーマーズ三重朝日」の効率的・安定的な農業経営を支援するため、三重県と連携して農業の労務管理と社会保険などの勉強会を開催しました。</p>			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p>・農地中間管理機構を活用した農地利用の集積・集約化や農地の区画拡大を促進する補助金等で、担い手の経営拡大・効率化を支援します。</p> <p>※【実施計画】担い手対策事業</p> <p>・「農事組合法人 匠ファーマーズ三重朝日」の効率的・安定的な農業経営や農業の担い手を育成するため、必要な支援等を行います。</p>			

主要施策3	農業生産等の振興	所管課	産業建設課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品農作物である「あじさい」「あさひのお米」「原木しいたけ」「生栗」を町広報紙等においてPR活動を行い、販路拡大を支援しました。 ・「あさひのお米」については学校給食での米飯食材として地産地消100%を達成しました。また、「原木しいたけ」「たけのこ」については、季節限定食材として地産地消を推進しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品農産物を町広報紙等でのPR活動を行い農産物の販路拡大を支援します。 ・特産品農産物を関係機関等と連携し、学校給食での活用促進により地産地消に努めます。 			

主要施策4	遊休農地の活用・解消	所管課	産業建設課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会と連携した農地パトロールにより遊休農地が約0.1ha減少しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会等と連携し、引き続き遊休農地の解消に向け農地の適正管理に努めます。 ・農業委員会の委員改選について、公募を行い、適任者を任命します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
農地利用集積率	62.4%	目標値	63.9%	66.0%	67.0%		70.0%
		実績値	65.6%	65.4%			
集落営農の法人化	0法人	目標値	1法人	－	－		1法人
		実績値	1法人	－			

4-2 商工業の振興

施策の目指す姿

- 町内商工業者が抱える課題に対して、適切な対応ができるよう朝明商工会等と連携しながら商工業の支援体制が強化されています。
- 時代の変化・危機に対応した個性的で活力ある地場産業が振興するとともに、新たな企業立地により町が活性化しています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	時代変化に即した活力ある商工業の振興	所管課	産業建設課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝明商工会への補助金交付並びに中小企業への利子補給金（19件、399千円）を実施しました。 ・創業支援等事業計画に基づき、朝明商工会と連携して「あさけ女性創業塾」を実施しました。 ・コロナ禍により影響を受けている町内事業者への事業経営継続支援のため、「朝日町中小企業・小規模事業者等応援給付金事業」を実施しました（13件、3,760千円）。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝明商工会への補助金交付並びに中小企業への利子補給金等を実施します。 ・創業支援等事業計画に基づいた創業支援を実施します。 			

主要施策2	地場産業の振興	所管課	産業建設課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日まちなみプランにて整備された柿桜並木において、朝明商工会との共催により「あさひ東海道まつり」を開催し、特産品のPR、販路拡大に貢献しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝明商工会等と連携して新たな特産品を創出します。 ・町主催秋のイベント（朝日町文化祭と同日開催）、ふるさと納税制度において、特産品のPRを行い、販路拡大を支援します。 			

主要施策3	新規企業の立地促進・支援	所管課	企画情報課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致エリアである埋縄川原地区において負担金施行とする水路施工について、適切に履行がなされるよう関係機関と調整を図り、適切な指導を実施し、施工が完了しました。 ※【実施計画】埋縄川地区水路改良事業 ・企業誘致奨励金措置について、令和3年4月に指定した事業者の初年度分の奨励金を交付し、雇用の促進を行いました。 ・企業誘致エリアにおける埋縄川原地区において、令和5年度夏頃の操業予定となることから、この事業者に対する企業誘致奨励金措置の調整が必要です。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月に指定した事業者の2年度分の奨励金の交付を実施します。 ・企業誘致エリアにおける埋縄川原地区において、令和5年度夏頃の操業予定のため、この事業者に対する企業誘致奨励金の事業者指定の調整を実施します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
特産品の新規認定件数	1件	目標値					年1件以上
		実績値	1件	0件			
朝明商工会等の支援を受けた創業者数	1件	目標値					年1件以上
		実績値	0件	0件			

4-3 観光・交流資源の創出

施策の目指す姿

- 朝日まちなみプランに基づく東海道の整備により、交流人口が増加し賑わいのある町となっています。
- 観光・交流資源の積極的なPR活動により、本町の認知度、ブランド力及び町の魅力が向上しています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	観光・交流資源の発掘・活用	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日まちなみ検討会主催、朝日町共催により、東海道のまちなみを朝日の竹で作った花挿しで演出する取り組みを実施しました。また、ふれあいパークで開催した竹あかりの展示では、町民が作製した竹あかりの展示を行いました。</p> <p>・朝日まちなみプランにて整備された柿桜並木において、朝明商工会との共催により「あさひ東海道まつり」を開催しました。</p> <p>・あさひ竹プロジェクトによる竹 TENT 作成ワークショップに13人、竹駕籠作成ワークショップに8人の方が参加しました。</p> <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・竹あかり展示イベント等を、朝日まちなみプランにより整備された施設等にて開催を検討します。</p> <p>※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）</p>			

主要施策2	観光・交流資源の情報発信	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日まちなみプランについては、都市再生整備計画最終年度であることから外部有識者を含めた事後評価委員会に諮り、適切に事後評価を実施し町ホームページにて公表しました。</p> <p>・観光・交流資源のPRを推進するため、町広報紙において「まちなみ通信」を8回掲載しました。</p> <p>・朝日まちなみプラン進捗状況紹介動画を作成しました。</p> <p>・スマートフォンにより利用可能なナビシステムである「まち歩きナビ」に2コース追加しました。</p> <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業</p> <p>・三重県と株式会社ポケモンとの提携に基づき寄贈された「ポケふた」をふれあいパークに設置しました。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・報道機関との連携や町広報紙等の活用により、観光・交流資源のPRを推進します。</p> <p>・朝日まちなみプランの進捗状況紹介動画をCCNet放映、町ホームページ等にて発信します。</p> <p>・スマートフォンにより利用可能なナビシステムである「まち歩きナビ」の充実を図ります。</p> <p>※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業</p> <p>・鉄道事業者に対して地域資源などについてPRし、東海道ウォーキングの際に積極的な活用を図ります。</p>			

主要施策3	広域連携による観光振興	所管課	産業建設課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・北伊勢10市町との広域連携および朝明商工会との連携により、金山駅（愛知県）にて開催された物販イベントにて朝日町特産品等の販売、パンフレット配布等を行いました。			
■令和5年度の取り組み方向			
・近隣市町との広域連携による観光情報の発信や、各市町のイベント実施などにより広域的な観光振興を図ります。			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
あさひ竹プロジェクト関係イベントへの参加者数	—	目標値	60人	180人	250人		400人
		実績値	111人	224人			
朝日まちなみプランに関する町広報紙年間掲載件数	6件	目標値	→				現状維持以上
		実績値	8件	8件			

4-4 雇用対策の推進

施策の目指す姿

- 地元就職の促進や、若者、女性、高齢者、障がい者、外国人の雇用促進など多様な働き方ができる町になっています。
- 就業機会の拡大・確保、就労環境の改善、勤労者福祉の向上が図られ、誰でも安心して働くことができる地域社会になっています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	雇用機会の確保と雇用の促進	所管課	産業建設課、企画情報課、保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢地域若者サポートステーションの出張相談窓口を毎月1回設置し、就労情報の提供や相談活動を行いました。 <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致エリアである埋縄川原地区において、操業予定事業者より雇用にかかる相談を受け付けるとともに、町内雇用を働きかけました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重労働局発行の「with u s」（就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援）のリーフレットを窓口に設置しました。 ・外国人向けに、公益財団法人三重国際交流財団（MIEF）発行の「みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）」のリーフレットを窓口に設置しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢地域若者サポートステーションなどと連携のもと就労情報の提供や相談活動を実施します。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、三重労働局発行の「with u s」（就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援）のリーフレットを窓口に設置します。 ・引き続き、外国人向けに、公益財団法人三重国際交流財団（MIEF）発行の「みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）」のリーフレットを窓口に設置します。 			

主要施策2	働きやすい環境づくりの促進	所管課	産業建設課、子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> 柔軟な働き方が町民と企業に浸透するように朝明商工会等の関係機関と連携してパンフレットを窓口等に設置しました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> 町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び保健福祉センター窓口にて「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> 町ホームページ等を活用し、働きやすい環境づくり促進に向けたPRや情報提供に努めます。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> 町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び保健福祉センター窓口にて「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置していきます。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
北勢地域若者サポートステーションへの就労相談を通じた進路決定者数	1件	目標値	→				年1件以上
		実績値	0件	1件			

5-1 協働のまちづくりの推進とコミュニティの育成

施策の目指す姿

- 多様な町民ニーズや地域課題について、町民と行政が情報を共有するとともに、相互に補完し、協働で課題解決に取り組んでいます。
- 町民の自主的な活動により地域づくりにかかわる町民が増え、地域コミュニティ活動が活発に行われています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	町民参画の推進	所管課	企画情報課、総務課、広報・町史編さん課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和3年度事業評価を町ホームページにて公表しました。また、「朝日町生活者応援事業」においては、事業に対する町民の意見を聴くためアンケート調査を実施し、事業の効果検証を行いました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想の策定にあたり、パブリックコメントを実施し町民の意見を反映させました。 <p>※【実施計画】新庁舎建設事業</p> <p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を継続して設置しました（令和4年度意見数12件）。また、ホームページバージョンアップ事業の際に、より町民が意見を発しやすいよう町政への意見箱の内容の見直しを実施しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和4年度事業評価が完了後、速やかに町ホームページにて公表します。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より策定予定の新庁舎建設基本計画について、策定委員会委員の一般公募、パブリックコメント等により町民の意見を反映させます。 ・第1回タウンミーティングが未実施である白梅西地区については、タウンミーティングを6月に実施するとともに、第2回タウンミーティングについても今後実施する予定です。 <p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を設置します。 			

主要施策2	開かれた町政の推進	所管課	広報・町史編さん課、企画情報課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページにおいて、容易に必要な情報を取得できるようサイト構成の見直しや「ライフメニュー」の新設などリニューアルを行い、情報発信の強化に努めました。また、町ホームページを安全に安心して閲覧できるようセキュリティ強化のため、通信を暗号化する常時SSL化を導入しました。 [常時SSL化：SSL（Secure Socket Layer）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する仕組みの一つです。常時SSL化では、ホームページ全体が暗号化されるため、第三者による通信データの盗聴・改ざん・なりすましを防止することができます。] ※【実施計画】ホームページCMS更新・バージョンアップ事業 ・町広報紙である「広報あさひ」をスーパーや病院など町内各所に配置し、広報機会の充実に努めました。 ・効率的な情報発信ができるよう広報あさひの折込チラシについて見直しを行いました。 ・関係課と連携しながら、あさひPRパンフレットを作成し、情報発信に努めました。 <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町情報公開条例に基づき公文書公開請求について19件対応しました（16件全部公開 1件部分公開 1件一部不存在 1件不存在）。 ・行政保有情報のオープンデータ化（指定緊急避難所データ）を実施し、令和5年3月から町ホームページにて公開いたしました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町広報紙である「広報あさひ」を引き続きスーパーや病院など町内各所に配置し、新たな施設への配置など拡充を図ります。また、折込チラシについて、発行回数を減らすことや回覧により大幅に削減します。 ・広報手段の充実のため、SNS等の活用について検討します。 ・完成したあさひPRパンフレットを全世帯へ配付するとともに、新たな町の情報発信ツールとして利用していきます。 <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、朝日町情報公開条例に基づき公文書公開請求について対応していきます。 ・町ホームページにて公開した行政保有情報のオープンデータについて拡充を図ります。 			

主要施策3	地域の多様なコミュニティ活動の支援	所管課	企画情報課、総務課、生涯学習課、保険福祉課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> 各自治区の活動支援として、朝日町地域づくり推進事業補助金を9自治区に5,558千円交付決定を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小等で実績額は4,566千円、活用率は76.1%となりました。また、持続可能な自治区活動が図られるとともに、コロナ禍においても補助金が有効活用されるよう、2月に開催された自治区長会にて各自治区の申請状況及び事業内容について情報交換を行いました。さらには、区長からの要望に基づき補助金制度の理解が深まるようQ&Aを作成しました。 ※【実施計画】地域づくり支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 例年、サマーフェスタ実行委員会にコミュニティ団体への活動支援を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりサマーフェスタASAHIは中止となりました。また、今年度も含めて5年間中止になっていることなどを踏まえて事業の見直しを行い、サマーフェスタ実行委員会での協議のもと町主催の代替イベントへ転換することが決定しました。 ※【実施計画】サマーフェスタ委託事業 <ul style="list-style-type: none"> 県がコミュニティ活動において、地域のつながりの希薄化、参加者の固定化、担い手不足等の課題解決のため設置した「持続可能なコミュニティづくり推進検討会議」に引き続き出席し、情報収集を行いました。 小向自治区から一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の申請相談があり、募集要項等の情報提供を行い、10月上旬に県を経由して助成申請しました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> 町内9自治区への活動支援（運営支援）として、自治区補助金（年総額2,889千円）、自治区用人費補助金（年総額2,194千円）及び自治区振興補助金（年総額2,500千円）を人口、世帯数を勘案し補助を行いました。 自治区長会（6回開催）を通じて自治区と行政の情報共有を図りました。また、各自治区要望（54件）に対する対応状況の報告を行いました。 自治区の加入率低下や自治会活動の担い手不足等により自治会組織の体制維持が困難になっていることの課題解決策のひとつとして、町ホームページに自治区活動について紹介するページを新設しました。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> 本部子ども会への支援として、朝日町子ども会育成者連絡協議会へ252千円補助金を交付するとともに運営支援を行いました。地区子ども会へは前述の補助金から各地区へ補助金を交付し、活動に必要な保険や子ども会の運営に関する支援を行いました。 地区公民館への支援として朝日ヶ丘分館の建替工事と柿分館の修繕工事について朝日町財政健全化措置要綱により補助金の交付申請があり予算措置を行いました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブに対し、活動補助金を交付し、老人クラブの活動を支援しました。 			

■令和5年度の取り組み方向

<企画情報課>

・引き続き、朝日町地域づくり推進事業補助金をもとに持続可能な自治区活動が図られるよう活動支援を実施します。また、補助金が有効に活用されるよう作成したQ&Aを送付することにより補助金制度の理解促進を図るとともに、補助金窓口である企画情報課において随時相談対応を行います。

※【実施計画】地域づくり推進事業

・町主催秋のイベント開催（朝日町文化祭と同日開催）に向けて各種関係機関と調整を図るとともに、町民の皆さんの関心を高めるため、イベント名の公募を行います。

・小向自治区のコミュニティ助成事業の円滑な実施に向けて、支援を行います。また、他のコミュニティ団体の活動支援のため、一般財団法人自治総合センターの補助メニューについて周知を行います。

<総務課>

・町内9自治区への活動支援（運営支援）として、自治区補助金、自治区用人費補助金及び自治区振興補助金を人口、世帯数等を勘案し各地区へ補助を行う予定です（令和5年8月頃）。

<生涯学習課>

・公民館分館の建替や修繕について、円滑に事業が実施されるよう補助金を交付します。

・引き続き本部子ども会への補助金を交付するとともに運営支援、地区子ども会へは各地区へ補助金を交付し、活動に必要な保険や子ども会の運営に関する支援を行います。

<保険福祉課>

・引き続き、老人クラブに対し、活動補助金を交付し、老人クラブの活動を支援していきます。

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
町ホームページアクセス数	335件/日	目標値	350件/日	580件/日	450件/日		400件/日	
		実績値	573件/日	444件/日				
地域づくり推進事業補助金活用率	83.8%	目標値	→					現状維持以上
		実績値	65.0%	76.1%				

5-2 人権の尊重とダイバーシティ社会の推進

施策の目指す姿

○お互いの人権を尊重し、性別をはじめ年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認などにかかわらず、全ての町民が多様性を認め合いながら、個性と能力を十分に発揮し、活躍できる社会が形成されています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	人権教育・人権啓発の推進	所管課	保険福祉課、生涯学習課、教育課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に関する差別を防止するため、9月に人権啓発リーフレットを町広報紙に折り込み、全戸配布を行いました。 人権講演会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き1時間の人権啓発番組（LGBTQに関する内容）を作成し、2月に計3回放送しました。ケーブルTVによる放送は感染症対策になりますが、参加者数や満足度などの指標の判断ができないところが課題です。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝日町人権教育研究協議会開催の町職員及び教職員に対する人権教育・啓発について中止いたしましたが、10月開催の三重県人権・同和教育研究大会に、町職員及び教職員が参加し、人権意識を高めました。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> 三重郡3町で、三重郡子ども人権フォーラムを開催しました。 差別解消3法ポスターを作成するとともに、差別事象に関する危機管理マニュアルを改訂し、学校・園に周知しました。 朝日町教職員研修会において、人権教育を充実させるための研修会を実施しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> 過去2年間人権講演会に替えてケーブルTV放送をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、参加者数や満足度を把握できる対面での人権講演会とし、2月に開催を予定しています。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝日町人権教育研究協議会開催の町職員及び教職員に対する人権教育・啓発研修及び三重県人権・同和教育研究大会への参加呼びかけにより、職員の人権意識を高めます。 町民対象の人権研修会を開催します。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> 三重郡子ども人権フォーラムを開催し、人権意識の向上に努めます。 差別事象に関する危機管理マニュアルを改訂し、学校園に周知します。 教職員対象に人権教育を充実させるための研修会を実施します。 			

主要施策2	人権問題に関する相談体制の充実	所管課	保険福祉課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員による相談事業として毎年度実施している特設人権相談について、6月と12月に計2回実施し、相談だけでなく人権に関する展示を同時実施し、見学された方に対して人権に関する相談窓口や連絡先について周知を行いました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> 昨年度同様、6月と12月に実施する特設人権相談と併せて人権に関する展示を同時実施し、人権に関する相談窓口や連絡先について周知を行います。 			

主要施策3	ダイバーシティ社会の推進	所管課	広報・町史編さん課、保険福祉課、生涯学習課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」の概要版を全世帯へ配布し、性の多様性に関する理解を深めるとともに、相談窓口の周知を行いました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月に計3回放送した人権啓発番組ではLGBTを中心とした性の多様性についてをテーマとし、「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」策定時に関するアンケートの内容も引用しながら番組を作成しました。 <p><広報・町史編さん課、保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県が導入しているパートナーシップ制度において、三重県や他市町と積極的に情報交換を行い、関係各課と連携し、パンフレットを窓口配置するなど、引き続き啓発事業や情報提供に取り組みました。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生に関しては、7月に北勢地域における日本語学習支援体制づくり連絡会議が今年度初めて開催され、意見交換が行われました。また、四日市市で開催された外国人雇用企業向け講演会への後援を行いました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」を推進し、三重県や関係機関と情報交換を行うなどダイバーシティ社会に向けた機運の醸成を図ります。 <p><広報・町史編さん課、保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ制度については、三重県が導入しているパートナーシップ制度において、引き続き町民に対する情報提供を行います。また、当該事業の登録者が利用できるサービスは他市町で利用できるものについては対応できていますが、新たに利用できそうなサービスが出た場合に、関係課と協力してサービスの拡充に努めます。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生に関する情報交換を他市町と行うとともに、引き続き四日市市で開催される外国人雇用企業向け講演会への後援を行います。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
人権に関する講演会や研修会の参加者数	120人 (H30)	目標値	120人	—	120人		150人
		実績値	—	—			
人権講演会参加者の満足度	95.8% (H30)	目標値	96.0%	—	96.0%		97.0%
		実績値	—	—			
人権に関する相談の開催	2回	目標値	2回	2回	3回		5回
		実績値	1回	2回			
弁護士等による専門相談の開催	6回	目標値	12回	12回	12回		12回
		実績値	12回	12回			
パートナーシップ制度の導入	未導入	目標値	未導入	—	—		導入済
		実績値	導入済	—			

5-3 男女共同参画社会の形成

施策の目指す姿

- 社会のあらゆる分野において、男性と女性が、社会の対等な構成員として一人一人の個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会になっています。
- 男性と女性が性別にかかわらずお互いに協力して、家事、育児、介護等に参画することにより、男性と女性ともに安心して働くことができる地域社会になっています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	男女共同参画社会の推進	所管課	広報・町史編さん課、各種審議会等所管課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画活動団体への活動支援として、1団体200千円の補助金を交付しました。 ・男女共同参画活動団体と協働で、町民参画の啓発事業として、「働く人のトータルマナー講座」(7月)、「男女共同参画講演会」(10月)、「スイーツ作り」(12月)を行い、男女共同参画社会に向けた機運の醸成を図りました。 ・庁内の職員で構成される朝日町男女共同参画推進委員会を開催し、様々な分野で女性が活躍できるよう関係各課との連携を強化しました。また、町民の男女共同参画の意識高揚のため、「かがやくあさひ 男女共同参画基本計画」の令和3年度事業評価および「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」の令和4年度取り組み方向をホームページにて公表しました。 ・6月23日から6月29日の男女共同参画週間にあわせ、町広報紙6月号において周知しました。 <p><各種審議会等所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町まちづくり条例に基づき、女性の意向が十分反映されるよう、各種審議会等へ女性の参画・登用を促進しましたが、女性委員の登用率は19.6%でした。更なる女性の参画・登用が必要です。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、男女共同参画活動団体の活動支援を実施します。また、町民参画の事業として、三重県内男女共同参画連携映画祭や料理教室など4回/年の事業の実施を検討しています。 ・朝日町男女共同参画推進委員会を開催し、引き続き男女共同参画基本計画の推進に向けて、全庁的な意識付けと各種審議会・委員会などへの女性の参画・登用を各課に働き掛けます。また、「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」の令和4年度事業評価および令和5年度取り組み方向をホームページにて公表します。 <p><各種審議会等所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種審議会等への女性の参画・登用を推進し、女性の意向が反映できるよう努めます。 			

主要施策2	男女がともに活躍できる環境づくり	所管課	広報・町史編さん課、子育て健康課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係各課と連携し、育児・介護休暇に関するパンフレットを窓口配置し、男女がともに働きやすい環境づくりを推進しました。 ・「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」の概要版を全世帯へ配布し、DVに関する相談窓口の周知を行いました。 ・11月12日から11月25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせ、関係課と連携し、町広報紙11月号においてDVの相談窓口などを掲載しました。さらに、パンフレットを窓口配置し、DV防止の啓発を行いました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢福祉事務所や北勢児童相談所、あさひ園や小中学校等の関係機関と連携し、DV・虐待被害者支援を行いました。 ・町広報紙やリーフレットを活用し、DV相談先を周知しました。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係各課と連携し、育児・介護休暇制度に関するパンフレットで情報を提供し、取得に向けた啓発を行います。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢福祉事務所や北勢児童相談所、あさひ園や小中学校等の関係機関と連携し、DV・虐待被害者支援を行います。 ・町広報紙やリーフレットを活用し、DV相談先を周知します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
男女共同参画講座の実施回数	3回	目標値	3回	4回	4回		4回
		実績値	0回	3回			
審議会等への女性委員登用率	19.2%	目標値	25.0%	25.0%	25.0%		40.0%
		実績値	22.1%	19.6%			

5-4 情報化及び効率的な行政運営・民間委託の推進

施策の目指す姿

- 電子申請による町民生活の利便性向上や、AIやRPA等のICTを用いた行政事務の効率化と正確性の確保を両立させた、スマート自治体の実現しています。
- 限られた資源（人員・財源等）を有効に活用し、事業の選択と集中により効果的かつ効率的な行政運営が行われています。
- 社会情勢の変化や町民ニーズに的確に対応できる職員が育成され、質の高い行政サービスが提供されています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	行政の情報化への対応	所管課	企画情報課、総務課、町民環境課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県市町DX推進協議会に計4回参加し、Logoチャット上でも積極的な情報収集を図りました。 ・庁内の職員で構成される朝日町電子自治体推進委員会にて、「朝日町デジタル戦略推進計画」を推進するため、デジタル化にかかる情報共有（スマート申請の導入）を図るとともに、計画の内容を更新しました。 ・三重県と連携して、スマートフォンに不慣れな方（初心者）向けに「初めてのスマホと安全講座」を1月18、19日に開催し、35名の参加がありました。参加者からは、大変好評でした。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント事業（第2弾）の啓発記事を広報あさひに掲載したほか、マイナポイントの手続き支援を1,041件実施しました。 ・住民票の写し及び印鑑登録証明書をコンビニ等でマイナンバーカードを利用して発行できる仕組みを構築し、令和5年3月13日から稼働して79通の発行実績がありました。 <p>※【実施計画】証明書コンビニ交付システム導入事業</p> <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの臨時窓口（平日夜間・休日）について、町広報紙及び町ホームページで周知を行いました。 ・令和5年3月末現在マイナンバーカード交付率は71.11%でした。 ・今後の課題としては、現在未交付になっているマイナンバーカードをマイナポイント申請期限である令和5年9月末までに交付することです。 ・スマートフォンとマイナンバーカードを利用して、転出届、戸籍証明の交付申請ができるスマート申請を導入しました。転出は令和5年2月より、戸籍証明は令和5年3月より稼働し、転出は5件、戸籍証明は2件の実績がありました。 <p>※【実施計画】スマート申請システム導入事業</p>			

■ 令和5年度の取り組み方向

<企画情報課>

・引き続き、三重県市町DX推進協議会や朝日町電子自治体推進委員会等通じ、庁内外問わず積極的な情報共有や緊密な連携を図ります。

<総務課>

・マイナポイント事業（第2弾）の申込期限延長（令和5年9月末まで）に伴い、引き続き周知啓発及び申込手続き支援を実施していきます。

・マイナンバーカード交付率の大幅な増加に伴い、昨年度より稼働した証明書コンビニ交付サービスの利用率向上に向けた周知啓発を行います。

<町民環境課>

・令和5年2月末までにマイナンバーカードの交付申請を行った方について、令和5年9月末までに交付をすることが出来るよう、引き続き臨時窓口（平日夜間・休日）の開設を行います。

<生涯学習課>

・公民館のデジタル活用の観点からスマートフォン教室の開催を検討していきます。

主要施策2	情報化に対応した人材の育成、情報セキュリティ対策の強化	所管課	企画情報課、総務課
-------	-----------------------------	-----	-----------

■ 令和4年度の進展度	B
-------------	---

■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題

<企画情報課：A>

・三重県市町村振興協会が主催する番号法関連の研修（Web形式）に4回26人が参加し、個人情報などの機密情報の適正な管理やセキュリティ対策について意識向上を図りました。

・10月の内部情報系リプレース以降、各職場にて内部情報系端末のセキュリティワイヤー設置を実施し、セキュリティ対策ソフトも更新いたしました。

※【実施計画】電算機器・システム（内部情報系）更新事業

・「個人情報の保護に関する法律」の改正に伴い、これまでの個人情報保護に関する法制度が統合されることに対応するため、「朝日町個人情報の保護に関する法律施行条例」を制定しました。

<総務課：B>

・実務処理能力向上のため総合事務組合主催の各種研修の周知等を行い、5講座に10人の参加がありました。

・11月にコンプライアンス行動指針に基づき各職場内でセキュリティ対策についての研修を行いました。

■ 令和5年度の取り組み方向

<企画情報課>

・今年度も三重県市町村振興協会が主催する番号法関連の研修（Web形式）へ参加し、個人情報などの機密情報の適正な管理やセキュリティ対策について意識向上を図ります。

<総務課>

・総合事務組合主催の階層別研修をはじめ各分野において知識が必要とされるパワーアップ研修の派遣を引き続き行います。

・個人番号の取り扱い業務に従事する職員への研修を実施します。

・コンプライアンス行動指針に基づきチェックシートを活用したセキュリティ対策に取り組みます。

主要施策3	効率的な行政運営	所管課	総務課、企画情報課
■ 令和4年度の進展度		A	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想について、新庁舎に必要な機能や規模、建設候補地の絞り込み、概算事業費等を検討し、パブリックコメントを実施した上で策定しました。 <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市大学との連携において、「朝日町と四日市大学の地域貢献事業推進に関する協定書」が締結後に18年経過したこともあり、更なる連携強化を目指し、新たに「四日市大学と朝日町との包括連携に関する協定書」を5月に締結しました。また、三重大学とは相互友好協力協定書に基づき、取り組みを継続します。 ・オンライン申請及び書かない窓口等について、システムベンダーが実施したデモに参加し情報収集を行いました。 ・10月に実施した内部情報系リプレイスでは、円滑に事業が遂行されるよう令和4年度1年間を通してシステムベンダーと4月から毎月第4木曜日に打ち合わせを実施しました。また、本事業では、機能が拡充されたグループウェアシステムや財務会計システムへ更新するとともに、新たに勤怠管理システムを導入しました。さらには、職員が使用する端末にWEB会議機能を搭載した端末を導入したことにより、更なる利便性の向上が見込まれます。 <p>※【実施計画】電算機器・システム（内部情報系）更新事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部情報系リプレイス時の打ち合わせにおいて、国が掲げる令和7年度までに移行が必要な標準準拠システムについて、システムベンダーと情報共有を図りました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設事業において効率的な行政運営を実現するため、今年度により策定予定の新庁舎建設基本計画において候補地の決定や必要となる機能などを整理し、概算事業費や建設スケジュールなど内容を精査します。 <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市大学や三重大学など高等教育研究機関とは、各種審議会及び委員会にて引き続き連携を図ります。 ・オンライン申請及び書かない窓口について、引き続き情報収集いたします。 ・標準準拠システムの移行に向けて、現行システムとのギャップをシステムベンダーとそれぞれの業務所管課で詳細に分析を行います。また、継続して、県・県内市町・システムベンダーとも情報共有を図りながら、確実に標準化対応を実施するため準備を進めます。 			

主要施策4	職員の能力向上	所管課	総務課
■ 令和4年度の進展度		B	
■ 令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の知識・技術等の能力向上のため、市町総合事務組合主催の研修に計画どおり派遣しました。開催された各種研修には、27講座で71人が参加しました。 ・11月にコンプライアンス行動指針に基づき各職場内で公務員倫理についての研修を行いました。 ・ハローワークと連携し障がい者雇用継続に向けた勉強会を実施し知識を深めました。また、雇用率は3.03%で法定公用率（2.6%）を達成しました。 			
■ 令和5年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス行動指針における職場研修実施の報告から、改めて確認すべき事項を取り上げ周知徹底を図ります。 ・総合事務組合主催の階層別研修をはじめ各分野において知識が必要とされるパワーアップ研修の派遣を引き続き行います。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
マイナンバーカード を活用してオンライン で申請可能な 行政手続数	4件	目標値	4件	8件	8件		8件
		実績値	4件	8件			
ICT業務継 続計画	未策定	目標値	—	—	策定		策定済
		実績値	—	—			

5-5 健全な財政運営の推進と自主財源の確保

施策の目指す姿

- 中長期的な財政計画に基づき、自主財源が安定的に確保され、限られた財源を有効に活用し、健全で持続可能な財政運営が行われています。
- 公共施設については、計画的な維持管理が実施され、長寿命化が図られています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	健全な財政運営の推進	所管課	総務課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・新規事業に加えて、経常経費である公債費や人件費、さらには、物価高騰等による光熱水費の増額などにより、財政調整基金の年度末残高は前年度末と比較し約1億3千万円の減となりました。今後も財源の確保を図るとともに、既存事業の見直しを行うなど収支改善に取り組む必要があります。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・中長期的な収支均衡を図り、将来にわたって効率的かつ安定的な財政構造へ転換するため、「朝日町財政改革推進プラン」を策定し、早期に徹底した収支改善を図る取り組みを実施します。</p>			

主要施策2	自主財源の確保	所管課	町税及び使用料・手数料に関する徴収 所管課、防災保全課・総務課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><町税及び使用料、手数料に関する徴収所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納者に対して、督促、催告、滞納処分等により徴収率の向上に努めました。 ・電子納付の対象税目に固定資産税、個人町県民税（普通徴収）及び軽自動車税（種別割）を追加しました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税は、寄附受入額が過去最高額（647件、9,269千円）となりました。 ・ふるさと納税推進のため、令和4年度に新規参入いただいた事業者を含め、返礼品を計15品を追加しました。また、町内の指定店舗で利用可能なオンライン商品券（金額帯は13種類）を導入しました。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共用地の未利用地についての処分はありませんでした。 			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><町税及び使用料、手数料に関する徴収所管課・総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納者に対して、督促、催告、滞納処分等を継続して実施します。 ・新しく追加された電子納付を含め、収納サービスについて周知を図ります。 ・利用料、使用料について、受益者負担の適正化を目指し、長期間見直しされていないものなどについて、「朝日町財政改革推進プラン」で方向性を示します。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税推進のため、引き続き総務課と産業建設課が連携し、魅力ある返礼品開発を行います。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用の公共用地の処分については、引き続き検討します。 			

主要施策3	公共施設等の適切な維持管理	所管課	総務課、各公共施設管理所管課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<総務課・各公共施設管理所管課> ・庁舎及び小中学校をはじめとした各公共施設において、朝日町公共施設個別施設計画に基づき適切な維持管理に努めました。			
■令和5年度の取り組み方向			
<総務課・各公共施設管理所管課> ・限られた財源で計画的に公共施設の保全や長寿命化を図るため、引き続き朝日町公共施設個別施設計画に基づく各施設の維持管理・更新に努めます。大規模な事業として朝日中学校のトイレ改修があり、6月～10月に実施します。			

目標指標								
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
実質公債費比率 ^{※1}	6.8%	目標値	6.5%	6.5%	6.5%		6.0%	
		実績値	7.4%	7.6%				
将来負担比率 ^{※2}	3.4%	目標値	2.7%	2.7%	2.7%		0.0%	
		実績値	6.4%	7.7%				
経常収支比率 ^{※3} (臨時財政対策債等含む)	92.1%	目標値	85.0%	85.0%	83.0%		80.0%	
		実績値	82.5%	84.2%				
町税合計収納率(合計分)	99.5%	目標値	→					現状維持以上
		実績値	99.7%	99.7%				

※1実質公債費比率：地方公共団体の収入に対して、1年間で支払った借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを割合で表したものです。数値が低くなるほど、財政は健全とされています。

※2将来負担比率：地方公共団体の収入に対して、地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを割合で表したものです。数値が高いほど、将来、財政を圧迫する可能性が高いことを示します。

※3経常収支比率：地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず毎年度経常的に収入される財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合です。この比率が高いほど投資的経費等の臨時的経費に使用できる一般財源が少なく、財政構造が弾力性を失っていることを示します。

5-6 広域行政・広域連携の推進

施策の目指す姿

- 町民の生活や活動範囲が拡大する中、広域的な行政課題等に対して近隣市町との共同事業として取り組むことによって、効率的な行政運営が行われています。
- 新たな行政ニーズに対応するため、行政間、町民間での交流・連携が図られ、地域力が向上しています。

令和4年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	広域連携による行政の推進	所管課	企画情報課、防災保全課、税務課、保険福祉課、上下水道課、町民環境課
■令和4年度の進展度		B	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・現状の広域連携である「常設消防委託事業」「三重地方税管理回収機構」「三重県後期高齢者医療広域連合」「三重県三重郡老人福祉施設組合」「北勢沿岸流域下水道」「川越排水機場維持管理」「朝明広域衛生組合」「朝日町、川越町組合立環境クリーンセンター」を維持し、共同事業として取り組み、効率的な行政運営を推進しました。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p>・引き続き、現状の広域連携を維持するとともに、新たに広域的な対応を必要とする行政課題に対しては、共同事業として取り組むことを検討します。</p>			

主要施策2	地域間交流の推進	所管課	企画情報課、広報・町史編さん課
■令和4年度の進展度		A	
■令和4年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <p>・山形県朝日町、長野県朝日村、富山県朝日町と全国朝日会の開催に向けて協議を行い、富山県朝日町にて10月に開催されました。コロナ禍で3年ぶりの開催となりましたが、「マイナンバーカードの普及」「新型コロナウイルス感染症に関する対応」「DXの推進」等の共通の課題について情報交換を行いました。</p> <p><広報・町史編さん課></p> <p>・「地域間交流事業」においては、東海道の賑わい創出拠点として古民家の利活用を検討している団体から申請があり、200千円の補助金を交付し、いなべ市や岐阜県養老町において古民家を地域活性化のために活用している方々と交流が行われました。</p>			
■令和5年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <p>・令和5年度は当町が全国朝日会の開催地となるため、山形県朝日町、長野県朝日村、富山県朝日町と開催に向けて協議を行います。</p> <p><広報・町史編さん課></p> <p>・文化・教育・産業・スポーツ・観光など様々な分野において幅広く交流及び連携が図れるよう、「地域間交流事業」の募集を継続します。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
広域的事業の展開	8事業	目標値	→					現状維持以上
		実績値	8事業	8事業				